



特別
ル 3
3617
61



東海道分間繪圖

全

桑楊編

徳島の... 橋のり日と... 表のり...

御定荷物費目

老徒荷 三六目

柴掛下 十六目

あび尻 二六目

人足荷 五メウ

上十五目赤印

下十五目赤印

上十五目赤印

下十五目赤印

下十五目赤印

大傳三丁目

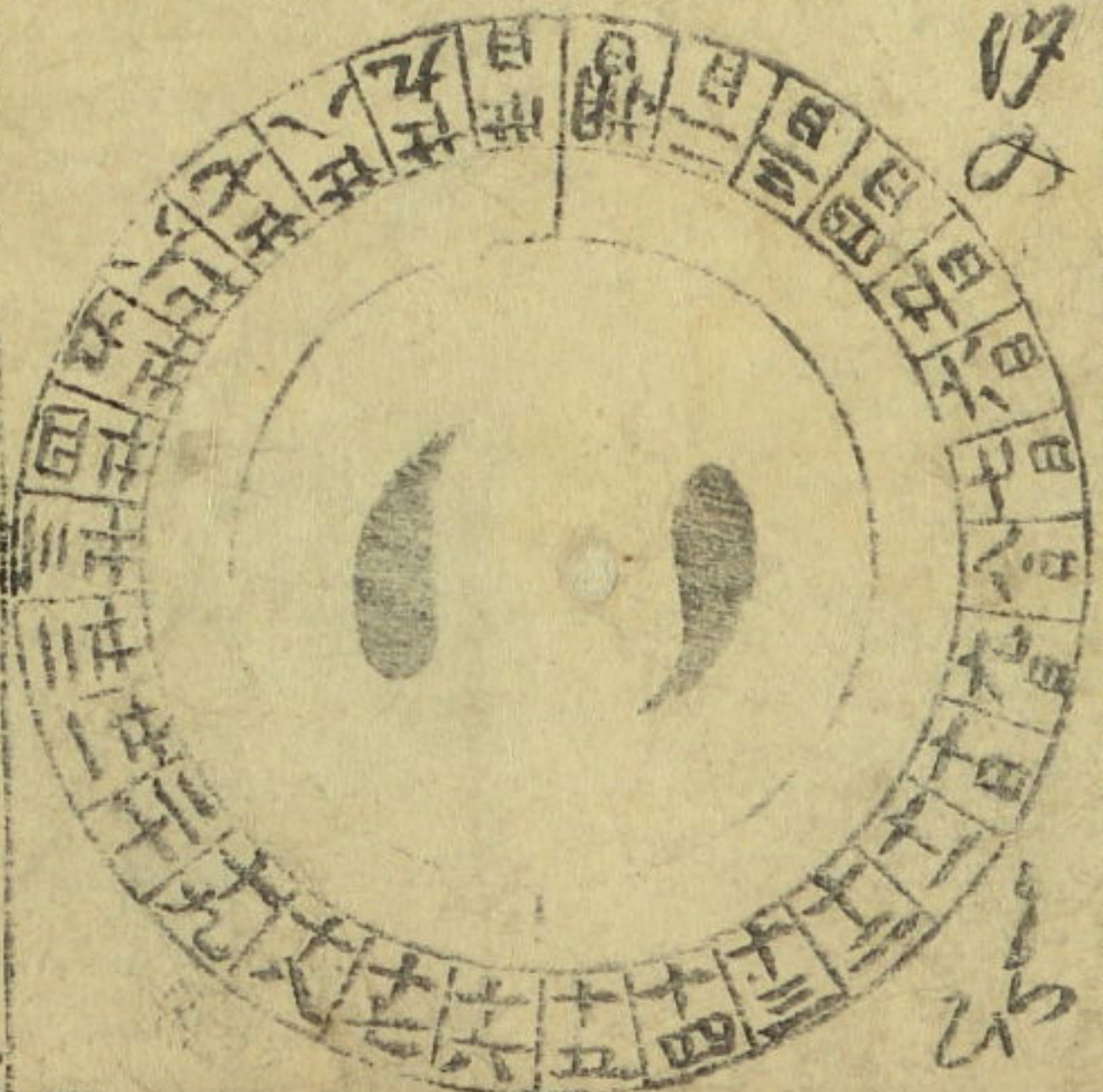
三返路中

南傳三丁目

北伝三丁目

小伝三丁目

三人月給



凡例

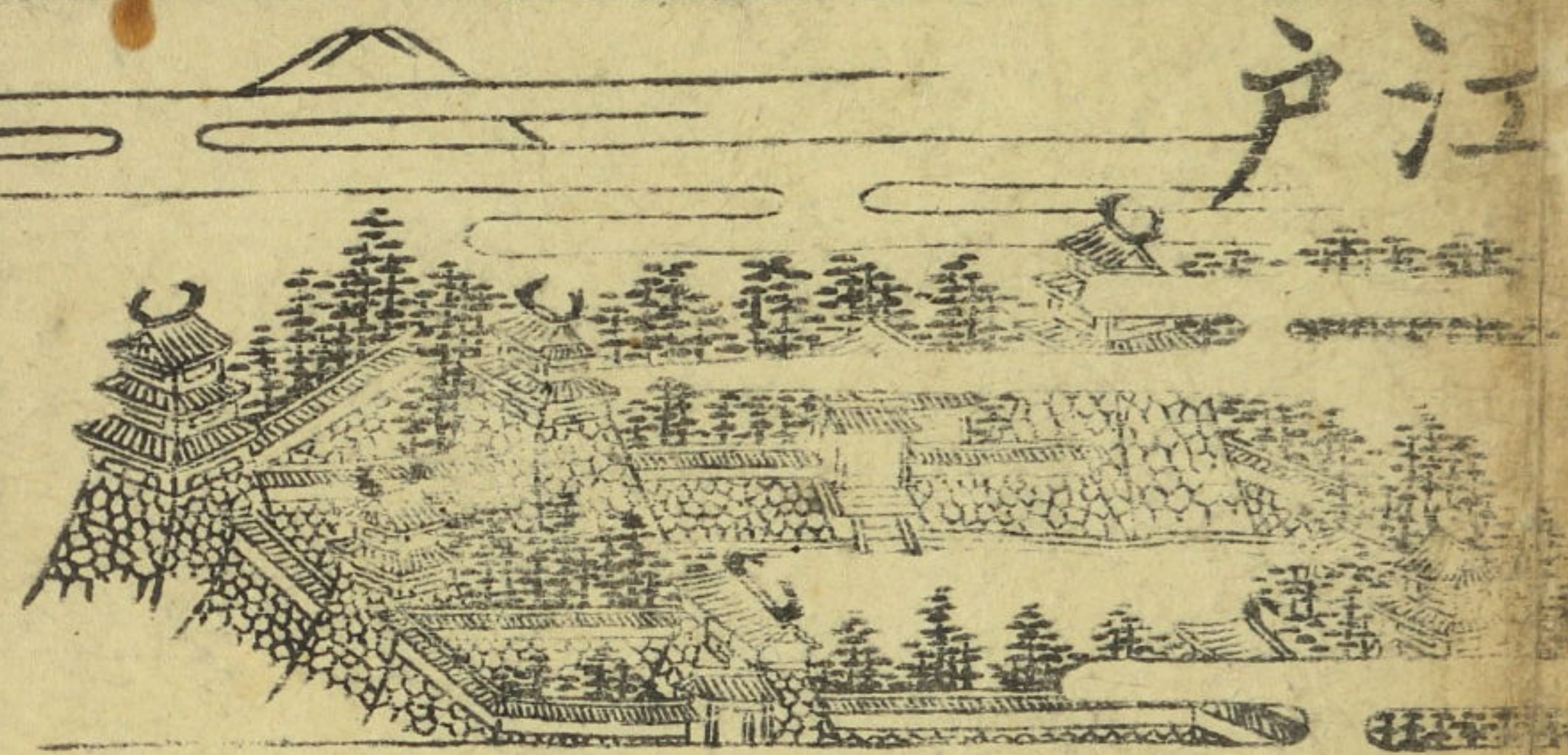
一遠をなす他の分間... 一改正増補... 一但し古馬... 一津城... 一神社... 一瀧... 一滝余... 一秋葉... 一...

江戸



一駐候付町屋付奥子志々す

江戸



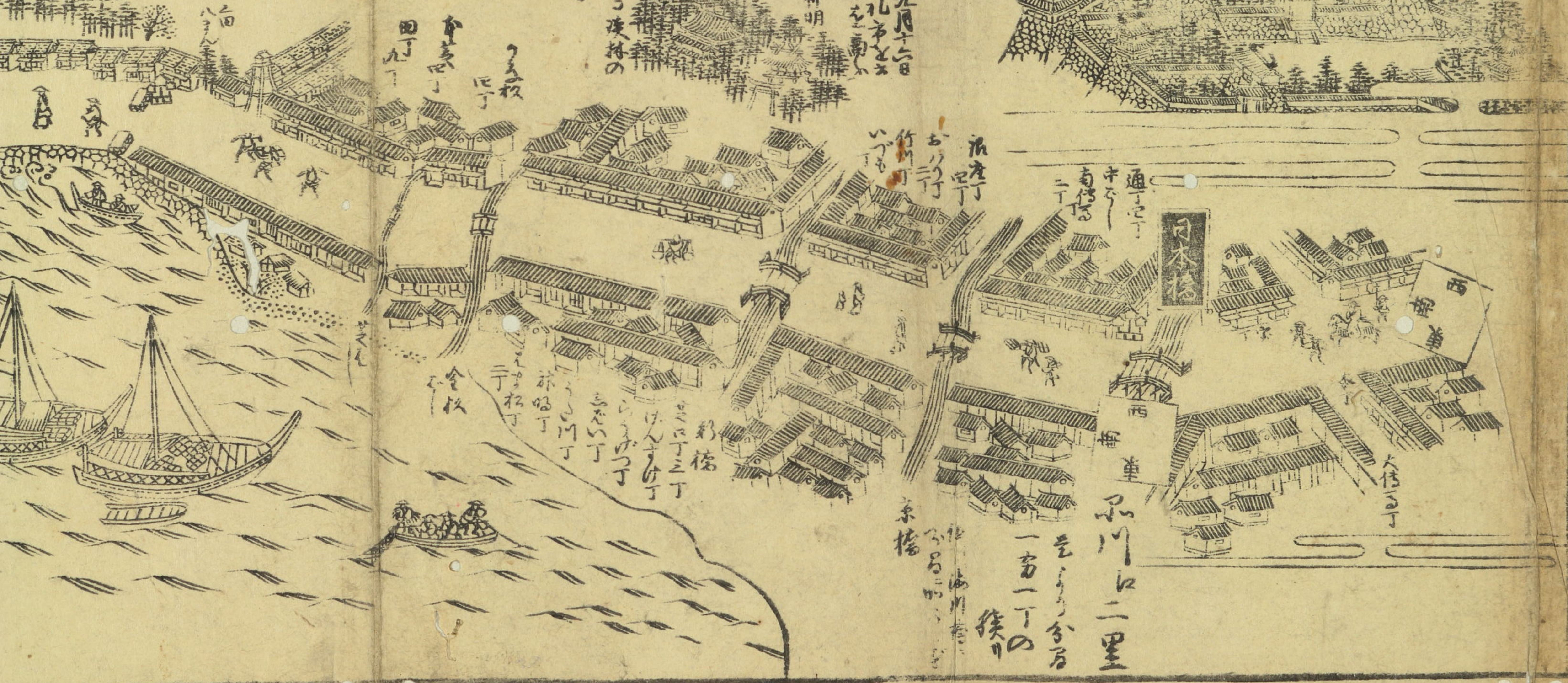
毎年九月十六日
伊奈礼市と云
せうぶを勤め

神明

三徳山
坊上
宝来十八ち漢林の
也幸もく

田所正月
元礼の過
之四垂
梳丁市屋
おのハ

立バ
大寺礼の
せんかく
大はく
毛全



西
御車

日本橋

通丁

南橋

西
御車

品川に二里

是より分府
一方一丁の
狭り

京橋

新橋

三丁

二丁

一丁

本町

金板

三丁

二丁

一丁

本町

三丁

二丁

一丁

本町

三丁

田所丁目
元札の通り
之四座
花丁市
おのり

立バ
大津戸札の辻

せんげん
大津戸
おのり

はまを
きよさ八幡
三月十日
おのり

一リつらるる
おのり

不川

石原山
おのり

おのり

おのり

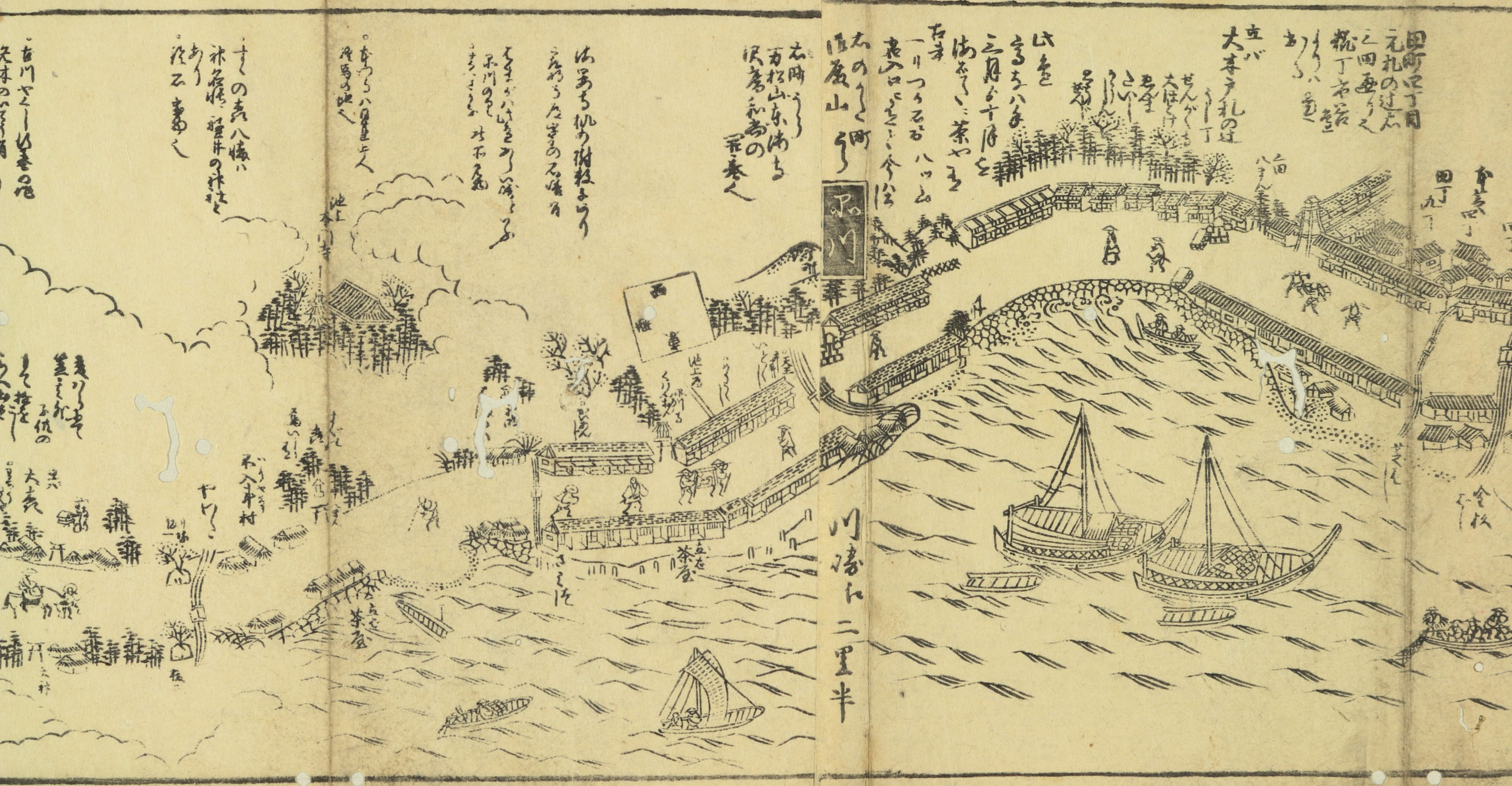
おのり

おのり

おのり

おのり

川崎に二里半



本町の八幡宮上人
後馬の地へ

十の森八幡の
林名は、野井の汁は
あり、
後石まゝあり

古川ヤムーひまの池
え木のいしり有
乳のあまみの
乳をいしり

ふたりの
水と八玉川
平井川を
秋川より
交いのワ
ふたりの川
新田大徳神の
ありありの
まゝあり

大山

大山



池上

不入村

茶屋

まりの
まの
まの
まの

大長

不入村

八幡

茶屋

川舟の
とまらぬ

子やまらぬ
川舟の
とまらぬ
はまふりや
たりの
舟とふ
十二天の
あま



川舟

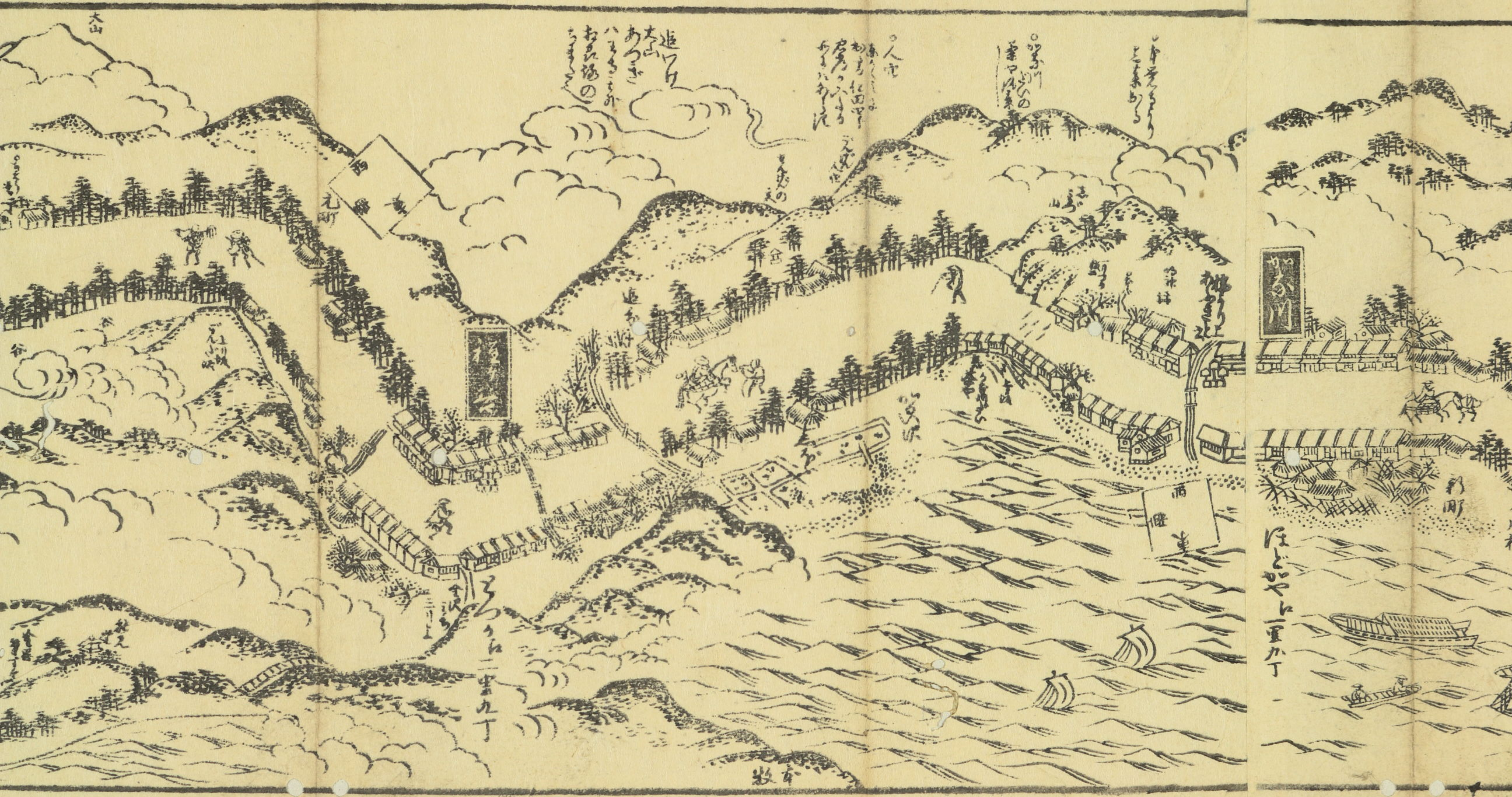
はまふり
一里か丁

川村

川舟

川舟
一里か丁

川舟



大山

進ワリ
大山
あつち
ハミ
おん湯の

人
おん湯の
おん湯の
おん湯の

おん湯の
おん湯の

おん湯の
おん湯の

西
東

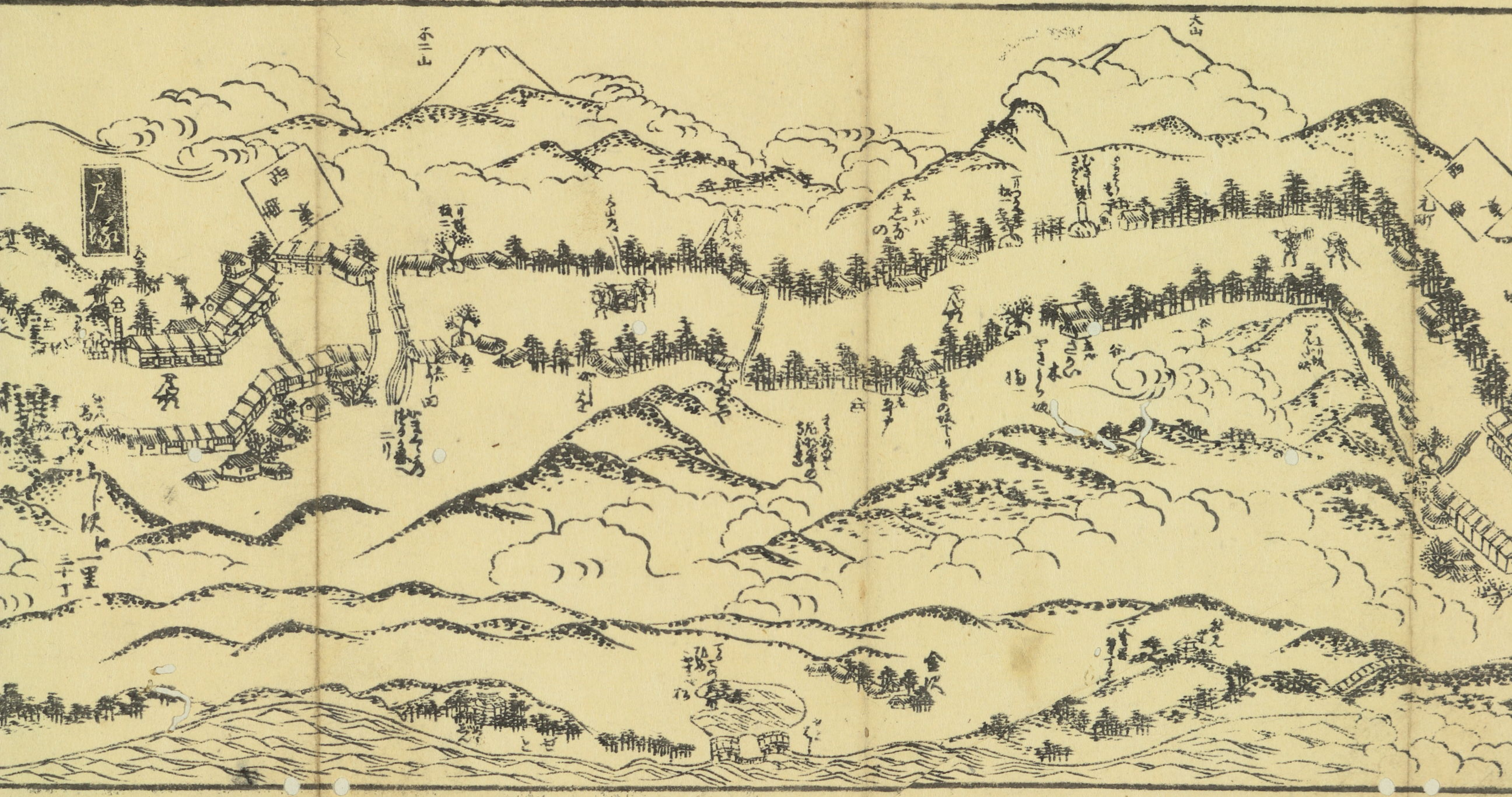
加藤川

加藤川

二里九丁

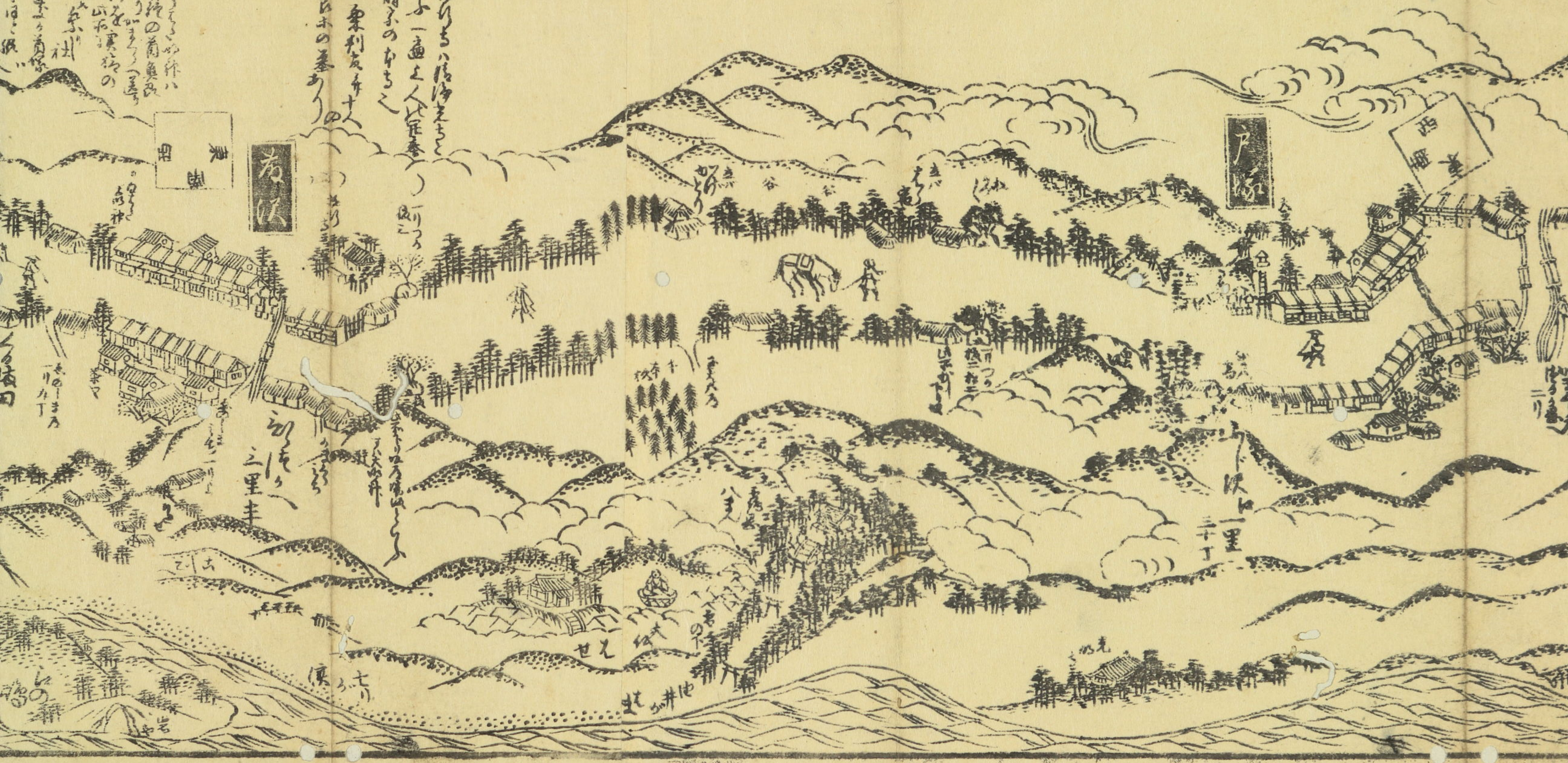
牧

二里九丁



○ 永平寺の道場
二丁目
○ 永平寺の道場
二丁目

○ 住りちの住持さま
りふ一通上人は住持
時宗のむちこ
小栗判官の十八
良木の墓あり



東山

若以

戸家

西郷

二里半

二里半

せえ

北の井

深の七

の光

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

の岩

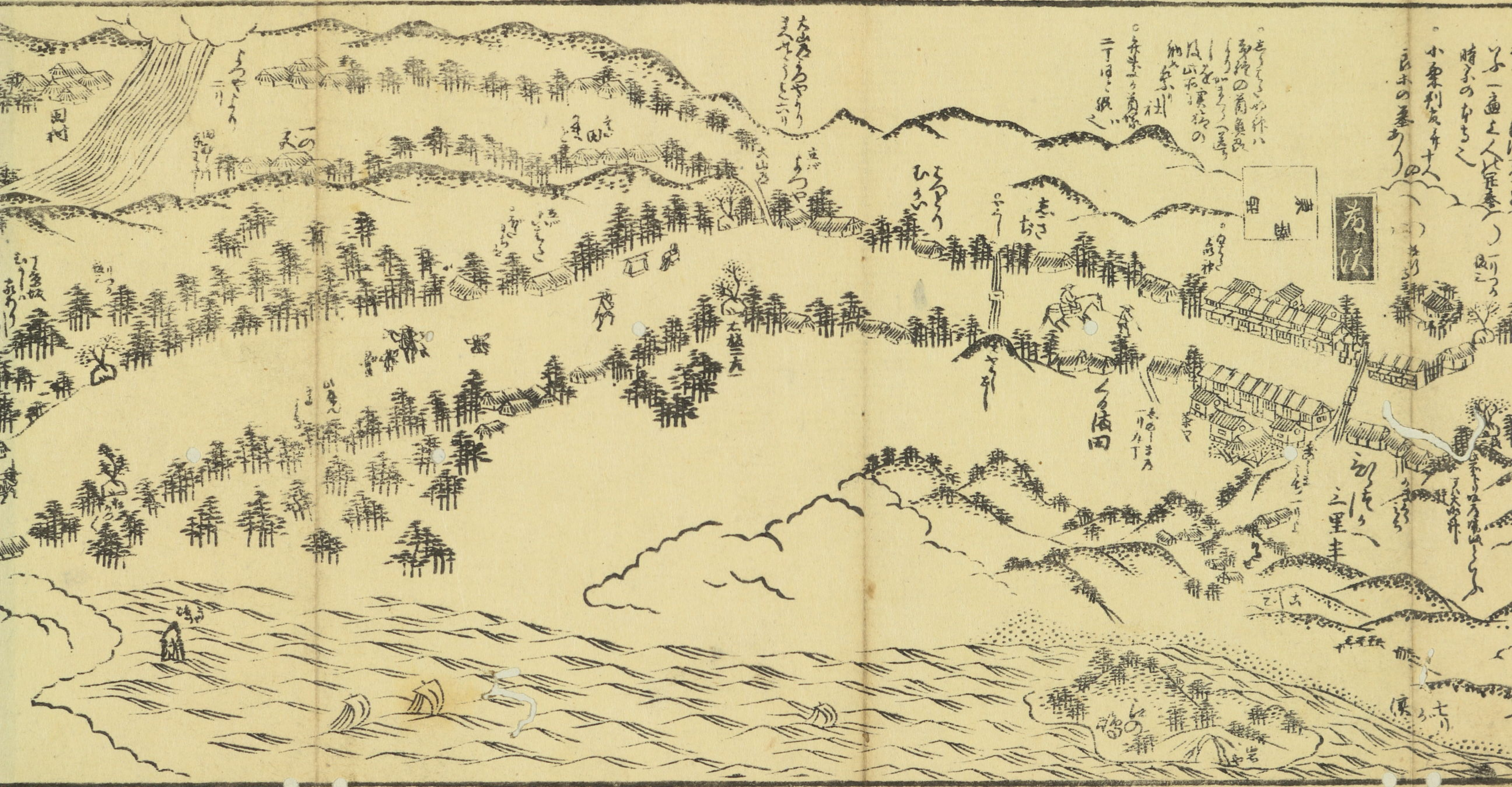
の岩

の岩

の岩

の岩

の岩



子一過と人比屋奉() 何なる
暗ふのちもち
小栗利友并十人
良木の墓ありの

志の首負良
及山石運物の
舟
舟米一舟
三石一紙

大山
美せうとこり

有以

田

志

いん

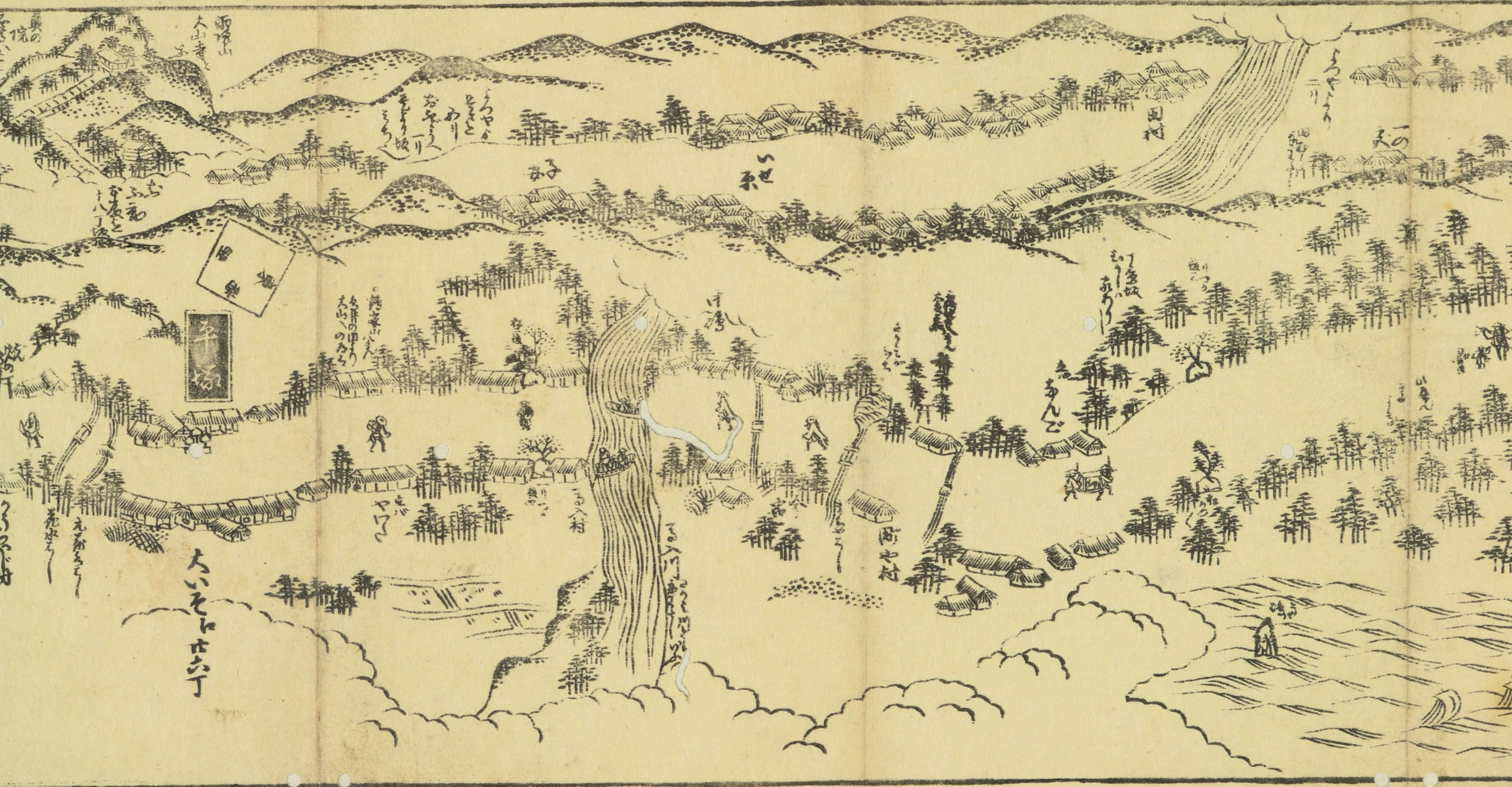
七松

田

之里

の

七



雨降山
大山寺

岩手
山

子

和

山

天の

山

山

山

山

山

大いそと
止六丁



雨降山
大山寺

真の
石堂
三月十五日

小田川
六里半

大城

大城

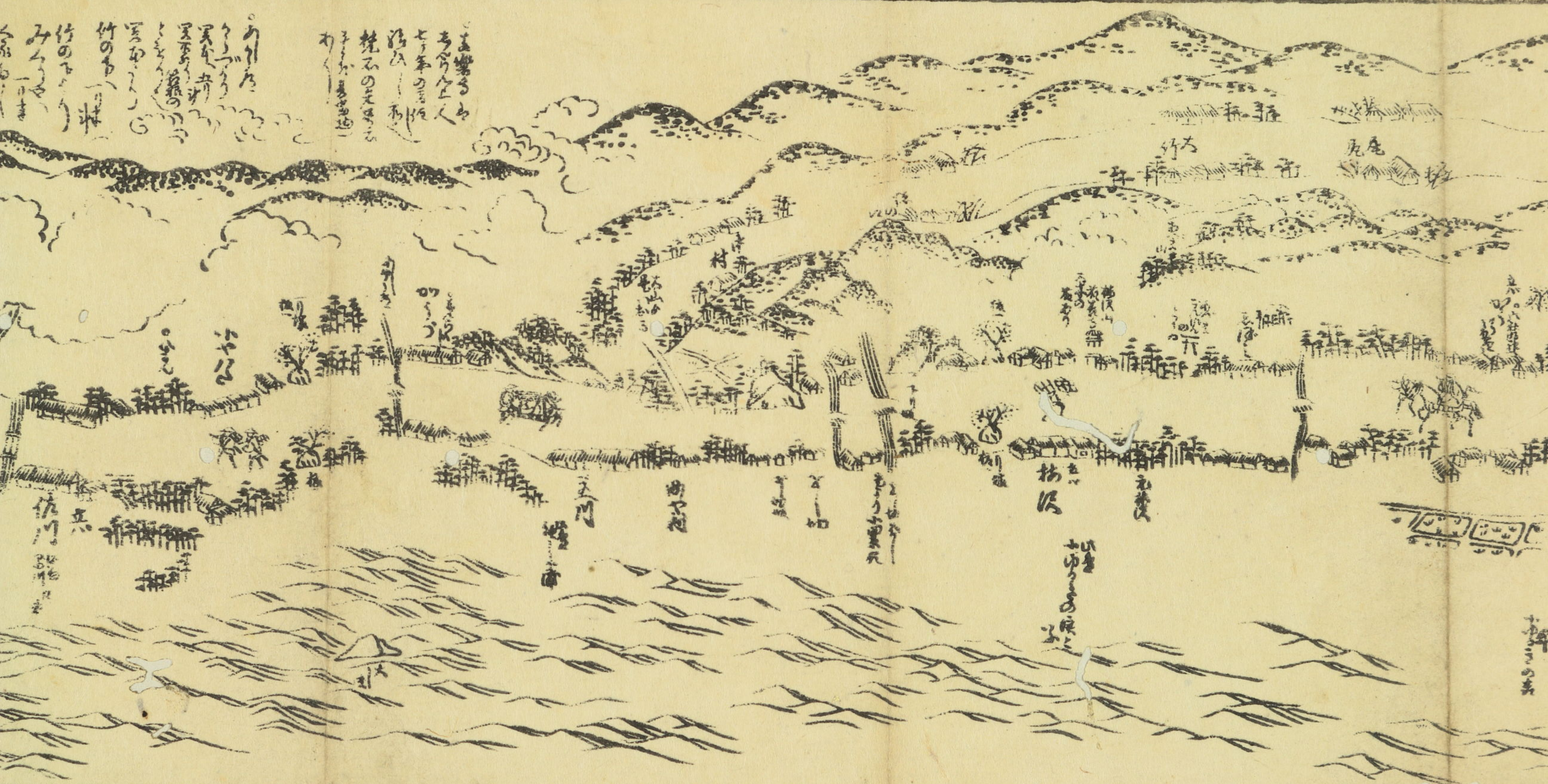
大城

大いそと石六丁

小田川に四里

この山は時の心を
もよほし長はあつた
おのれをさかすまの
木のこゝろをさかす
おのれをさかすまの
木のこゝろをさかす
おのれをさかすまの
木のこゝろをさかす

おのれのこゝろを
さかすまの木の
こゝろをさかす



あけの
みづの
竹の
山
七
林
の
文
子
か
地

依
川
五
六

五
門
山
下
川
の
水
天

山
下
川
の
水
天
い
ま
の
水
天

山
下
川
の
水
天

七ヶ年の言
流ひしあり
梵石のまほ
子かき多
わく

あけり
くさくさ
実を
里あり
とく
宮あり

竹のち
竹のち
みん
みん

あけり
くさくさ
実を
里あり
とく
宮あり

あけり
くさくさ
実を
里あり
とく
宮あり

あけり
くさくさ
実を
里あり
とく
宮あり

あけり
くさくさ
実を
里あり
とく
宮あり

あけり
くさくさ
実を
里あり
とく
宮あり

○小田原の城ハ
小田原の城ハ
小田原の城ハ
小田原の城ハ

あけり
くさくさ
実を
里あり
とく
宮あり

長奥山
長奥山
長奥山
長奥山

あけり
くさくさ
実を
里あり
とく
宮あり



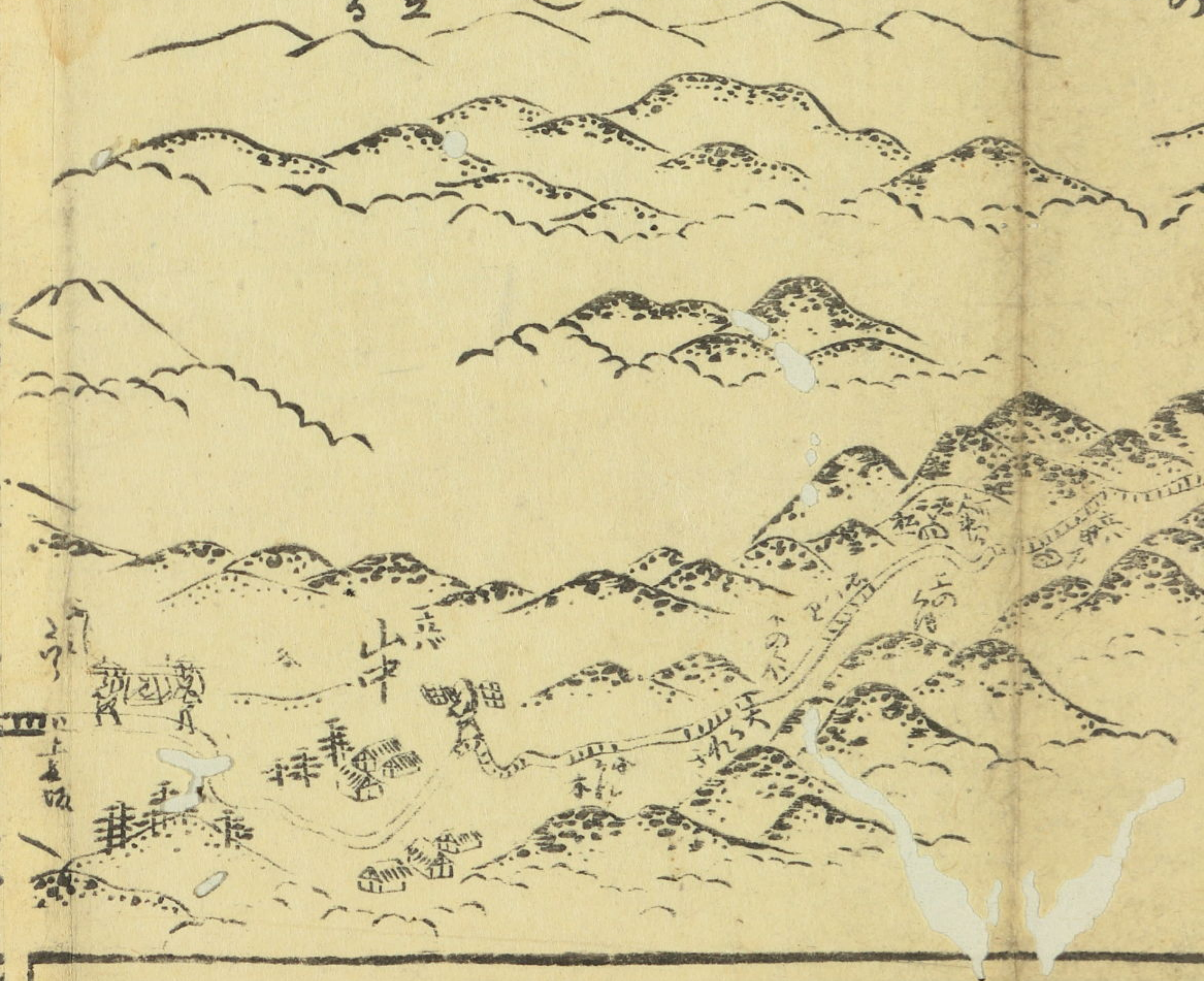
小桑の折敷山
たし

山中

小桑の時以来
築小桑左と
今二城治
大桑口の

平野

上長坂
すうの田



三好明神
大山祇の神



三つ明神ハ
大山祇の神也
津和野の神也
のふたは
は成五百二十
之河

子吳祖
何百の水と
すう一
浅子吳と
料はせりの
ゆへに名と
まう

山王の社
おのの社の
まののの
ののの

河は合
は川
ありあり



河は一里半

きせ門い
たのれ
のれ
のれ

今
大
芳
日

原一里半

川

山王の社よ
おのれおのれの
まじりのの
時のみあり

沼は合

沼は合
沼の向ふに
ありありあり
ありありあり
ありありあり

車返村 先より後より
赴くありあり上原の
ありありあり

沼は合のむねは
ありありあり
ありありあり
ありありあり
ありありあり



写本山 又ありあり
山山八人堂七代考具天
ありありありありあり

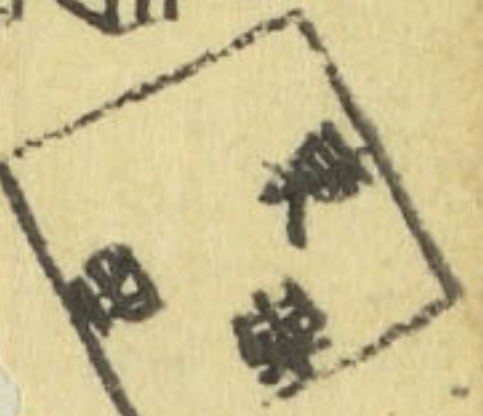


今を測ハス田の
大の河の岸より
ありありありあり

原に一里半

ありありありあり

千をねえ
ありありありあり
ありありありあり



吉原
ありあり

写本山又東下り

山山八人堂七代孝長天皇
太子を御心成の地すけり候も
ついでに備えて写す

秀明の御心成の地すけり候も
ついでに備えて写す

月廿一日のり来り
修頂と云り来り

此山よりすけり候も
ついでに備えて写す

ついでに備えて写す
ついでに備えて写す

ついでに備えて写す
ついでに備えて写す

ついでに備えて写す
ついでに備えて写す

法人石見守
六月廿一日

五才山其の系
毎年三月のり

い山の神社

ついでに備えて写す
ついでに備えて写す

ついでに備えて写す
ついでに備えて写す

ついでに備えて写す
ついでに備えて写す

ついでに備えて写す
ついでに備えて写す

ついでに備えて写す
ついでに備えて写す



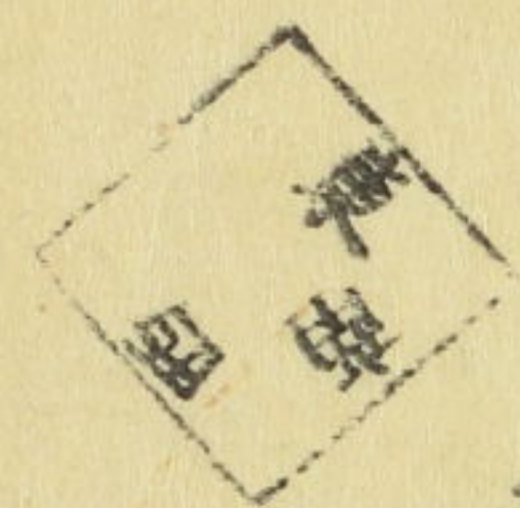
吉原
三丁

い山の神社

是より山は地蔵寺
三月にさきくちふで
十日のちらふまじり
原と深うけりふ

長平沢

延喜の八りち
けりていふ
ありていふ
今西の
さき



古原

高の心
まはる
る

木の方今
若子
る

木の山
若我
又
福
若
佐

二里二十丁

是年
今
り

又

伊の志

軍川
水
川



北入

南の

身延山



芳我足方の地あり
 又そ次久保と云ふ
 秘なる地なる者
 芳我足方不尋
 佐將あり

重川にありてなる
 水六の信州八が
 流れて甲辰の川
 地川も川も入る

水井の
 水井の
 水井の

田子の
 田子の
 田子の

水井

水井

水井

水井

水井

水井

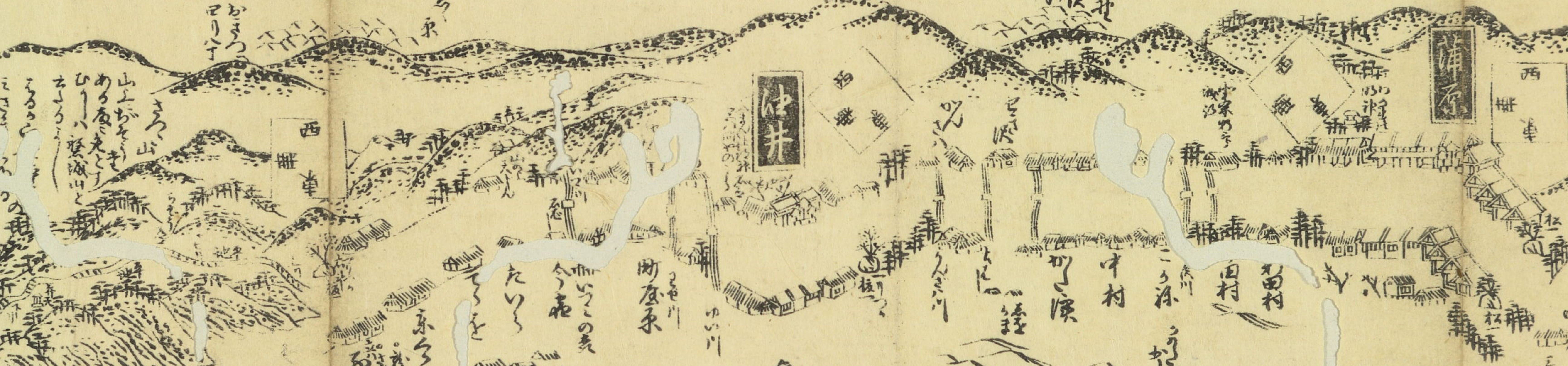
水井

水井

水井

水井

花入
市
万
松
松
松
松



中井

西

西

奥は二里十六丁

中井に三丁あり

久米川に
田子の
言ねよ

直の
歴元
天和
寛文



奥津八幡宮
 ちうりつ 葛園
 巨杉絶山後見も
 赤玉池う成三石堂
 片敷の後若舟堂
 寺のら二七石の林も

山上の山
 ありあきと
 ひりハ 登城山
 富士三保のねり
 又ハ 後り 後り

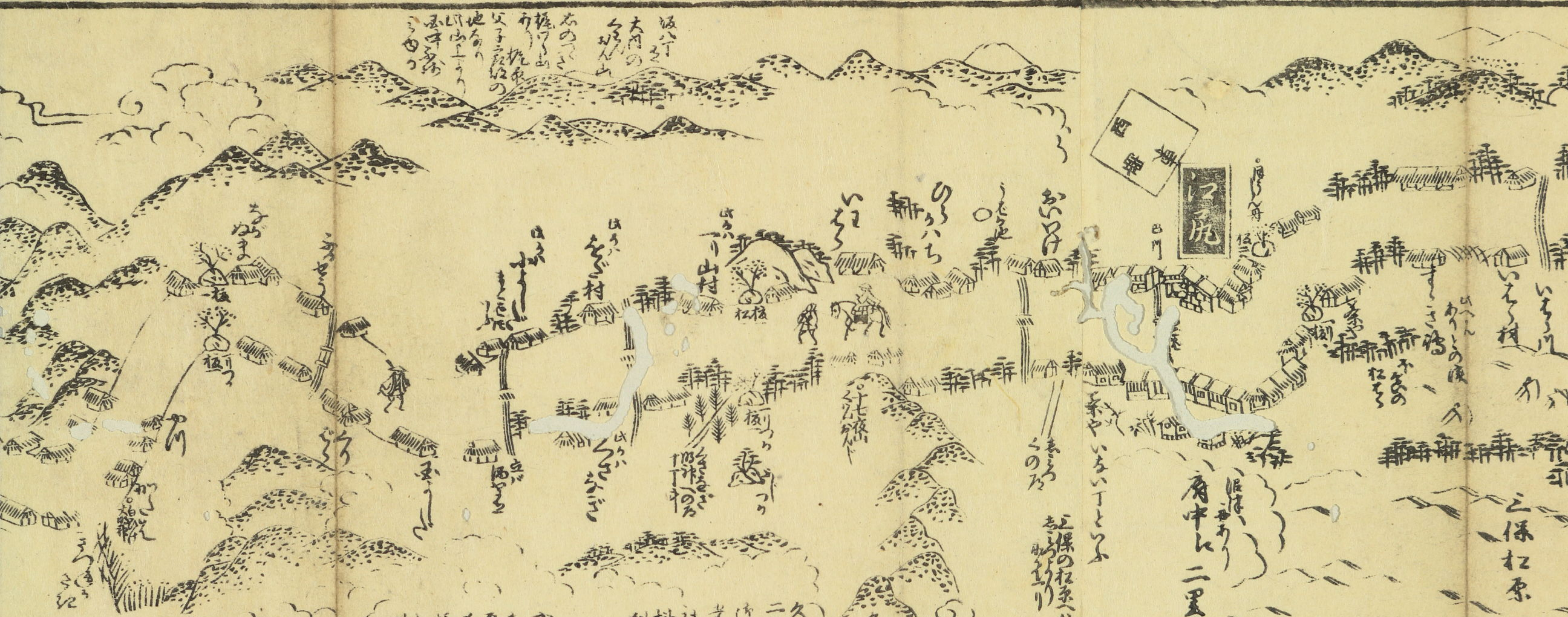
江尻 一里九丁

之保 松原

之保のねりたて
 一丁より二丁下
 赤一色くお八地
 あり 神の社
 四ツの 松の
 山あり 松の
 山あり 松の
 山あり 松の
 山あり 松の

府中 二里七丁

直の海
 神師 酒と
 山あり 松の
 山あり 松の
 山あり 松の
 山あり 松の



坂行
 大内
 右の
 振
 地
 父
 山
 玉

西
 野
 屋

角中
 二里正七丁

二保
 松原

久能山に在りて
 二里正七丁に
 所置るを以て
 昔塔をみる
 社此に在る
 林系中をこれと
 別るに由る

久能山に在りて
 二里正七丁に
 所置るを以て
 昔塔をみる
 社此に在る
 林系中をこれと
 別るに由る

正保の松原
 此の地

旧治の...
 山あり...
 此の...
 目...
 寺



丸
丸の表の旗の
物さく考り
うさくし
中書

丸城の方
丸城の方
丸城の方
丸城の方

丸城の方
丸城の方
丸城の方
丸城の方

丸城の方
丸城の方
丸城の方
丸城の方

丸城の方
丸城の方
丸城の方
丸城の方

丸城の方
丸城の方
丸城の方
丸城の方

丸城の方
丸城の方
丸城の方
丸城の方

丸城の方
丸城の方
丸城の方
丸城の方

丸城の方
丸城の方
丸城の方
丸城の方

丸城の方
丸城の方
丸城の方
丸城の方

丸城の方
丸城の方
丸城の方
丸城の方

丸城の方
丸城の方
丸城の方
丸城の方

丸子の表の山の
のりく考し
のりく考し
のりく考し

丸子

丸子が
あつた
はまなち
ちあり
土居

丸子の
丸子の
丸子の

丸子の
丸子の

丸子の

丸子の

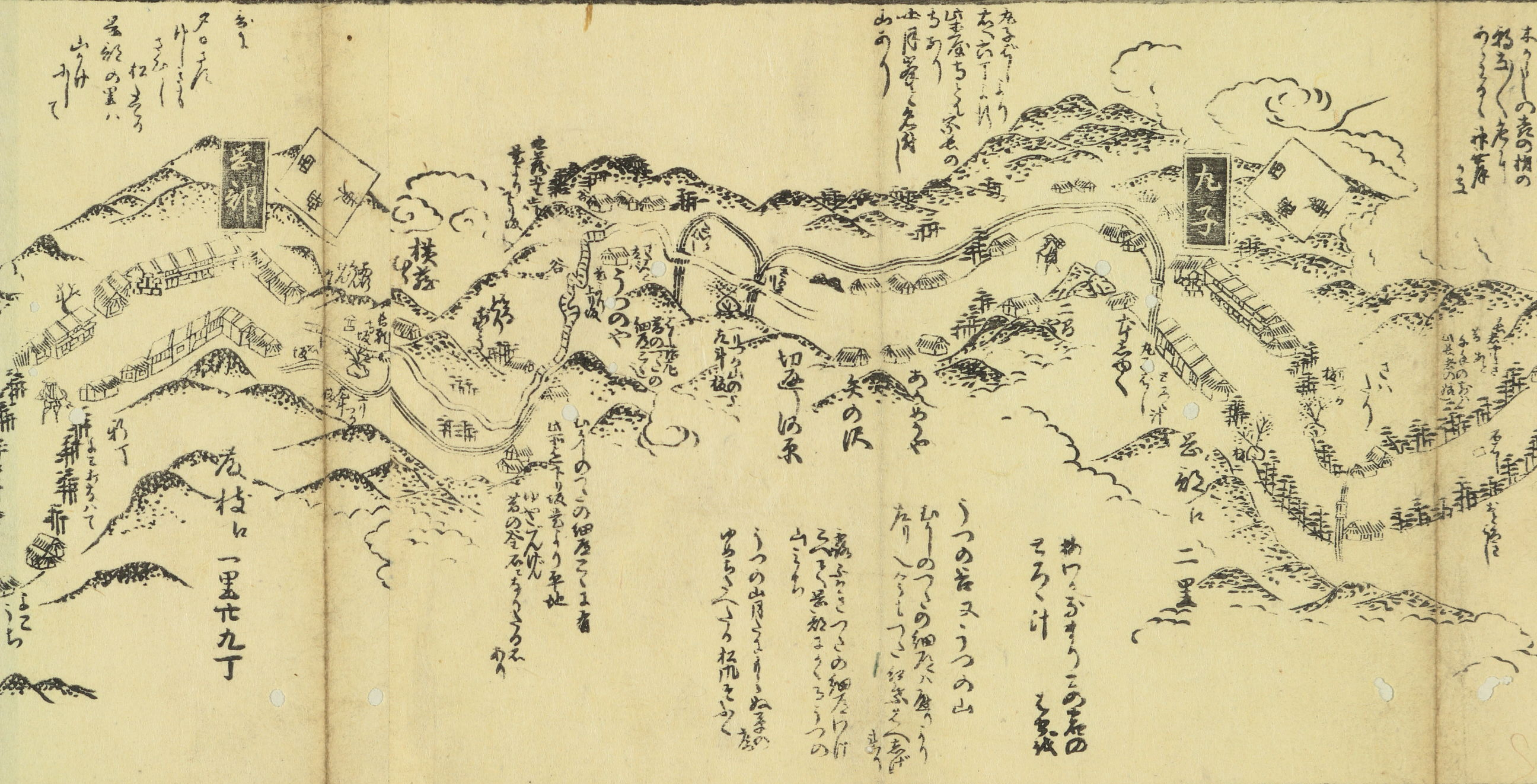
丸子の

丸子の

丸子の
丸子の

丸子の
丸子の

丸子の
丸子の



かき
夕日
松本
星野の里
山

八幡
うり
うり
うり

八幡
あ

入
た
た

世
大
い



世に
幸は
なま
くら
い川
大井
の
いの
の



大井
の
いの
の



東野

西野

西野

か
ま
や
ん

一
里

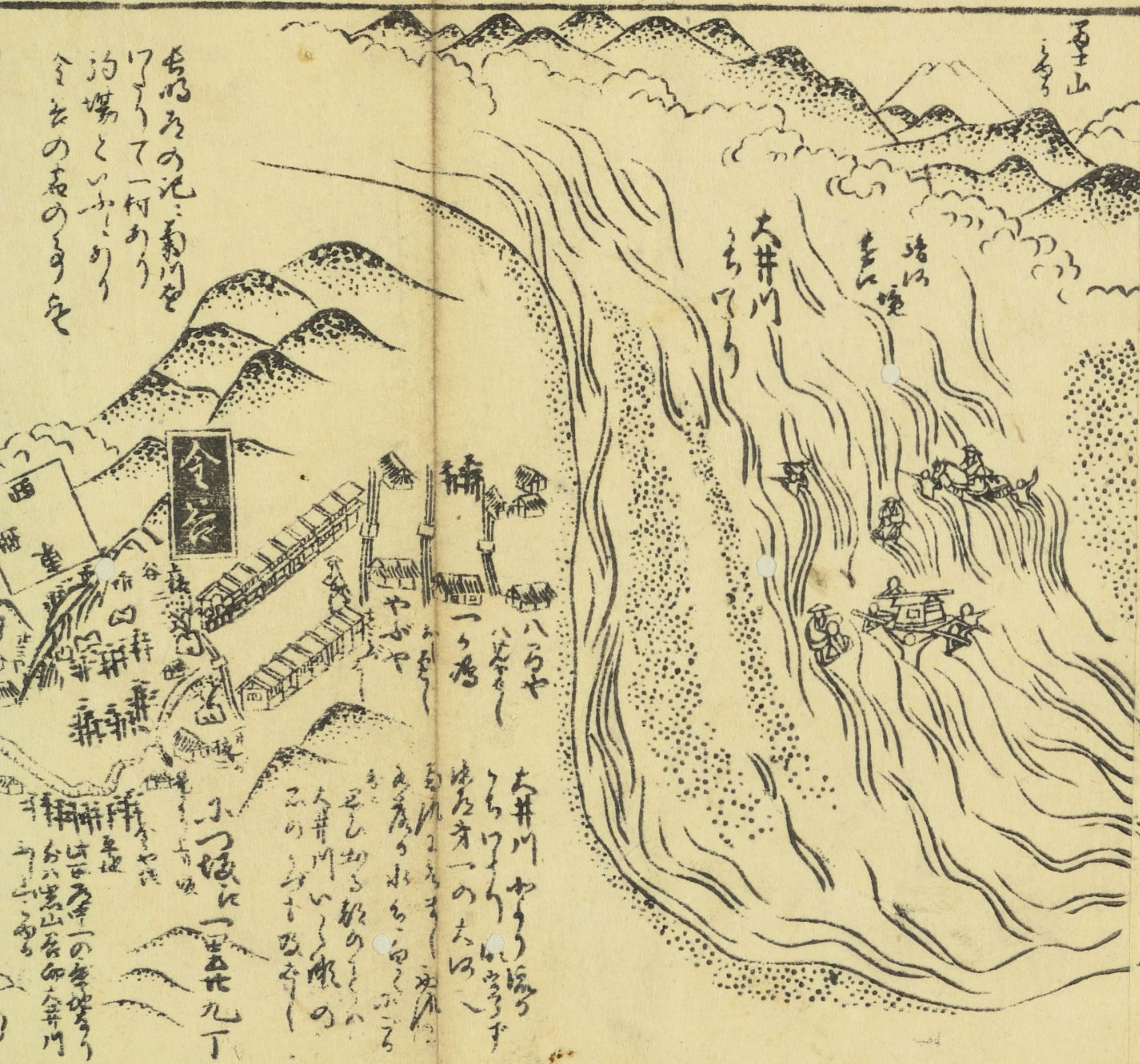
ま
と
田
中
氏

二
の
や
ま
の
ま
た
二
の
や
ま
の
ま

西
の
ま
つ
り
山

二
の
や
ま
の
ま

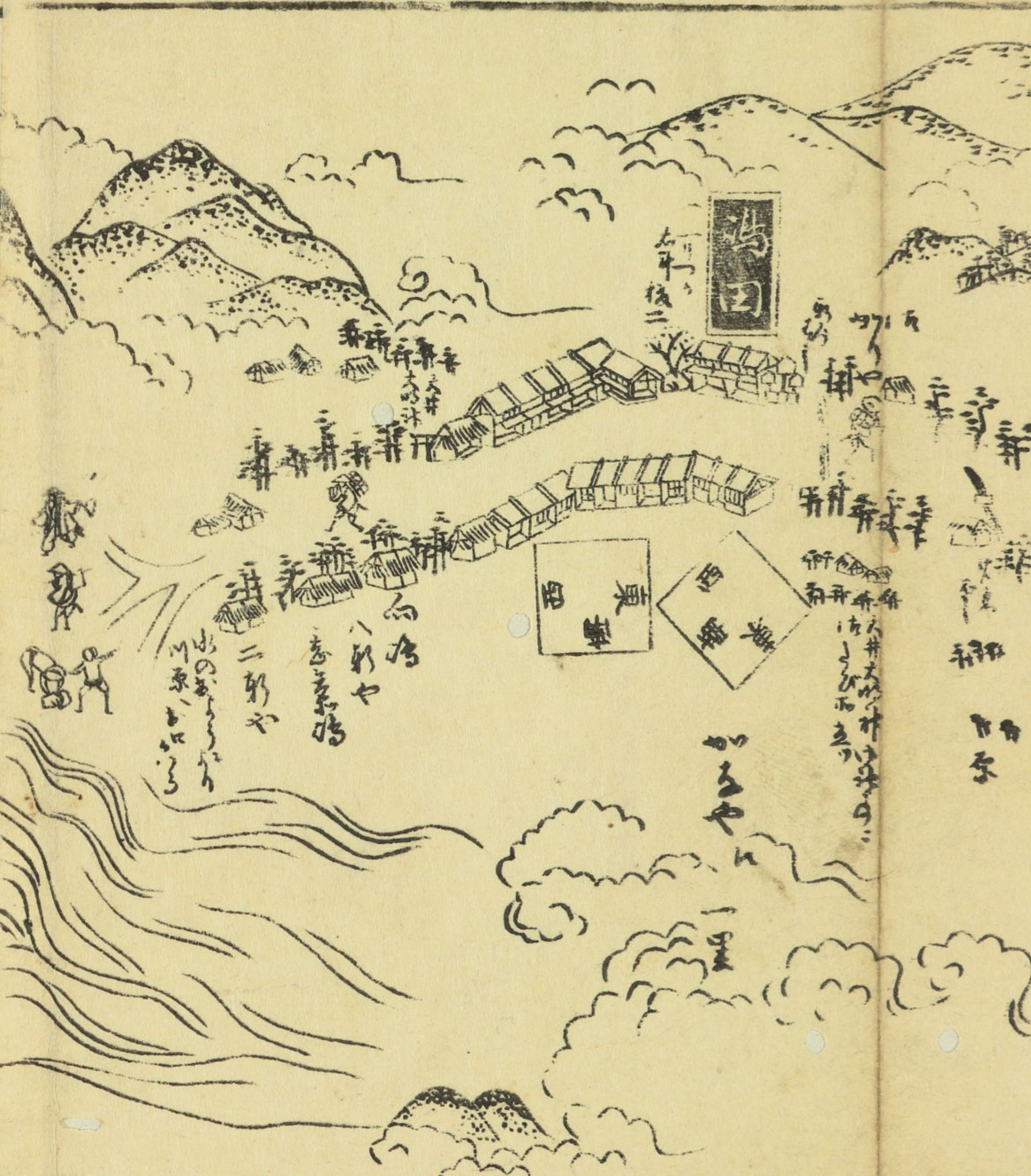
長崎の北、大井川
のほとり、一軒あり
釣場といふ、その
全長の高のりき



五王山

大井川
のほとり

治の
境



令

七年後二

東
西

一里

大井川のほとり、
釣場といふ、その
全長の高のりき
小つばに、一里九下

右の川の北に菊川を
 ついて一町あり
 約場といふ所のあり
 今右の右の山を

菊川がまき川つ
 川とまわりをまき
 さくのむらり
 じりハハもみ水食

さくの中心又
 さくの中心又
 さくの中心又
 さくの中心又

右の川の北に菊川を
 ついて一町あり
 約場といふ所のあり
 今右の右の山を

ましのまき川はまき川



今

西

西

け川
 一里九丁

右の山

一里九丁の山は
 築城の所と教
 此の川は
 此の川は

右の山は
 右の山は
 右の山は

むけんの降ハたの方
 ちやんをふくけし
 けしやうもふくけし
 のく二月あふふく
 未海をふくけし
 清くふくけし
 つけをふくけし
 けしふくけし
 せら地てふくけし
 の衣の衣の位位人ふく
 ゆうふくけし井の中ふく

まとのまふくけし
 ちやんの記ふくけし
 ちやんの記ふくけし
 ちやんの記ふくけし

ふくけしのふくけし
 ちやんの記ふくけし
 ちやんの記ふくけし

むけ

むけ川一里九丁

むけ川のふくけし

むけ川のふくけし



城主
 大田横津守
 五万三千石

掛川

掛川

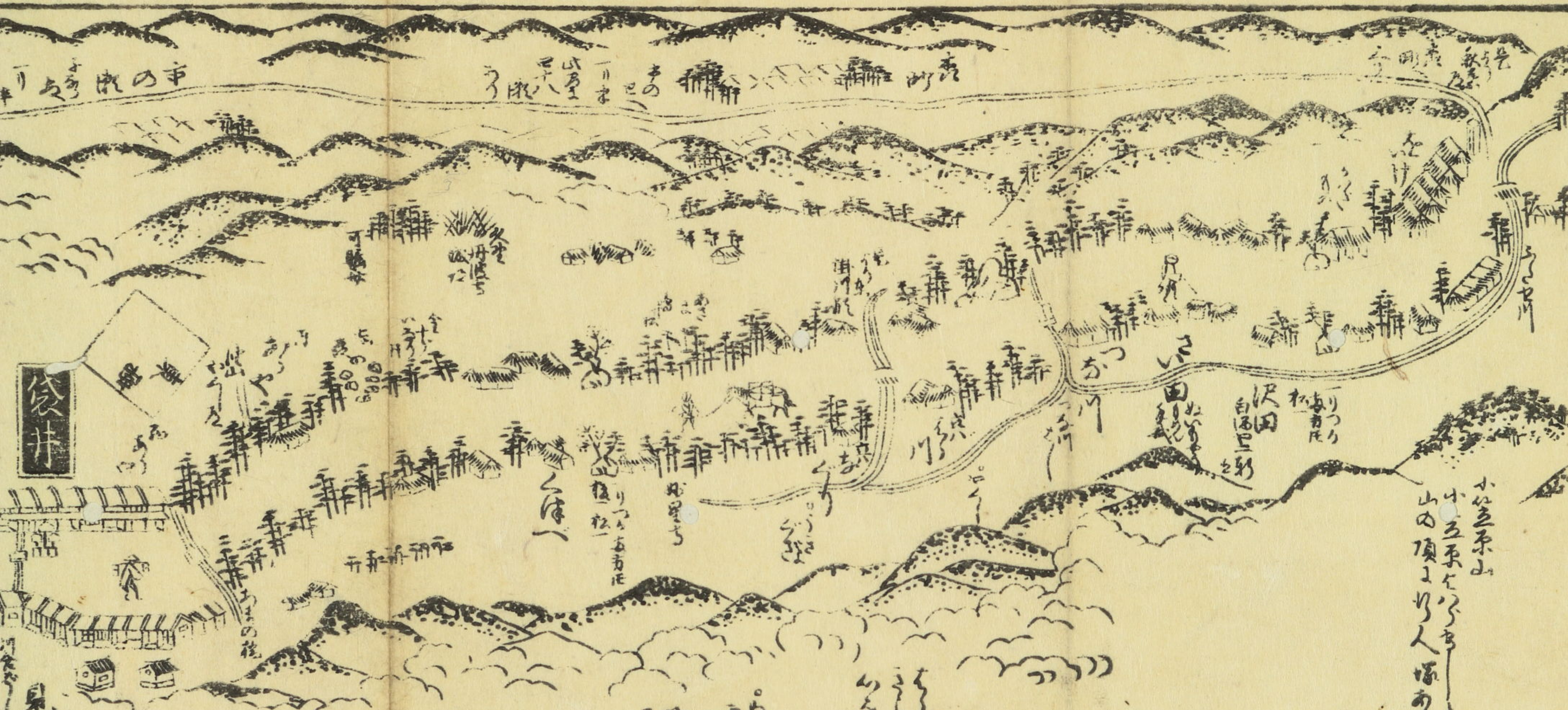
袋井二里十六丁

掛川表
 河水城をめぐりて掛川の

つれづれなるをふくけし
 つれづれなるをふくけし
 つれづれなるをふくけし

くまのふくけし
 あい枝 一丁
 下地ふくけし

小五平山
 山の頂より人塚あり



市川の水

一里半
二里半
三里半
四里半
五里半
六里半
七里半
八里半
九里半
十里半

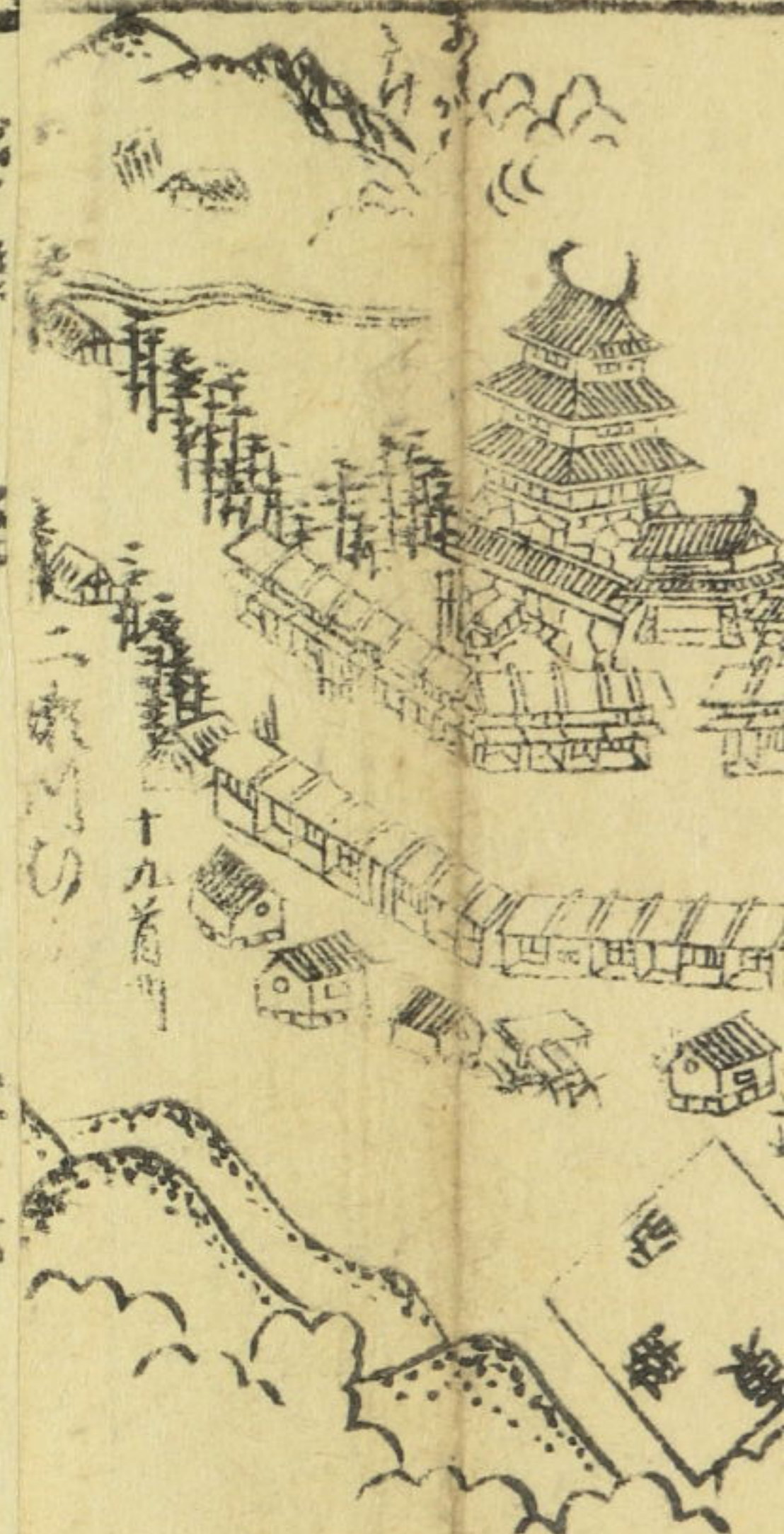
袋井

見付に
一里半

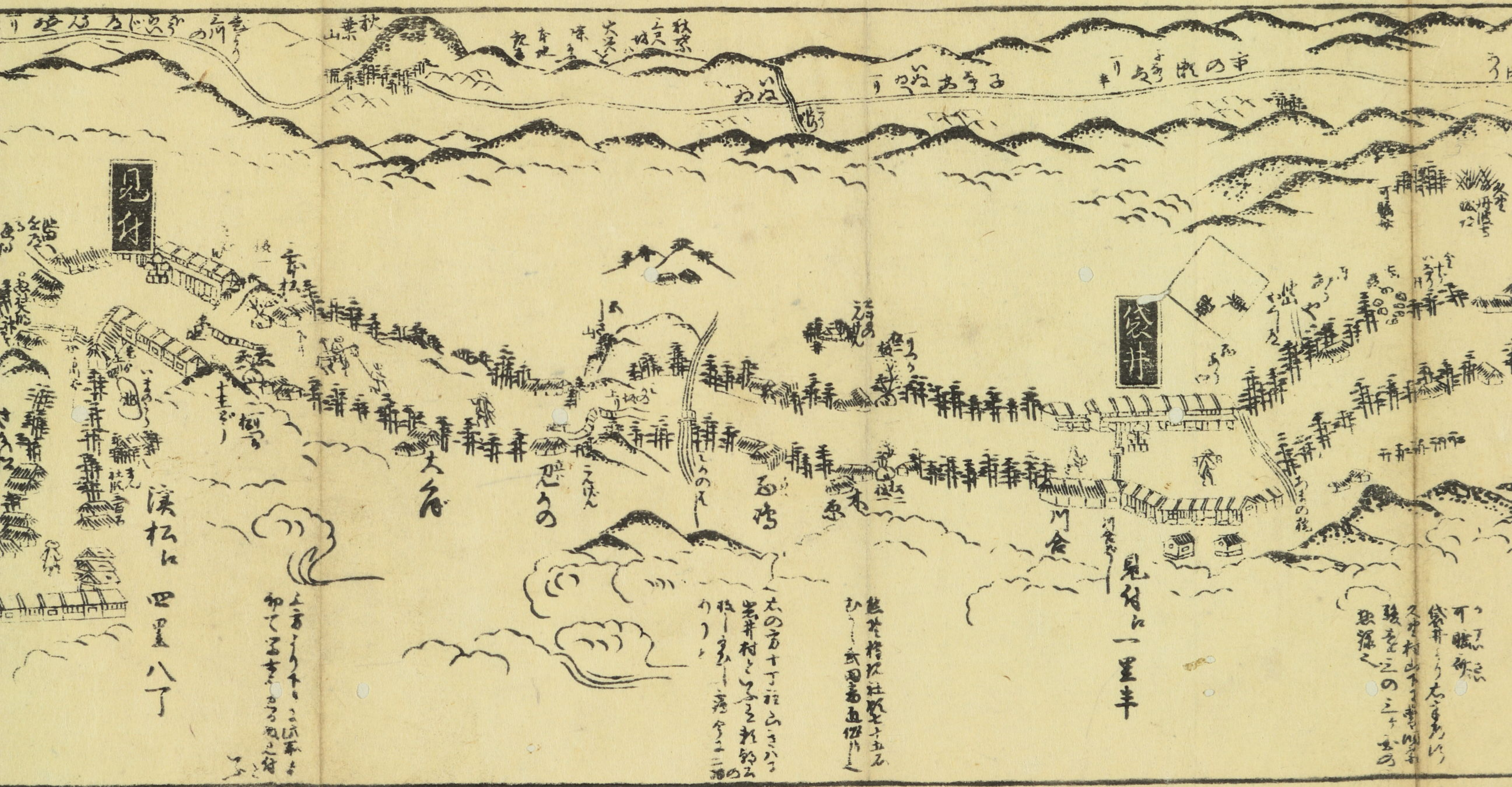
可
袋井
後を
取

川の水
の
の
の

小
山
の
頂
上
に
人
の
塚
あり



下
の
水
の
流



見付

袋井

深松に
四里八丁

見付に一里半

上方より下りては本
初てさきさるぬと付

本の方十丁にふさ八丁
岩井村とよとれたる云
ぬりまゝ一落今二の
りり

能於持以社殿を十五
む一武田若直何り

可成所
袋井より右にあり
又中村山下に菅野
張を三の二十云の
張海之

河

秋葉山

秋葉山
大天
本

お江

子

市

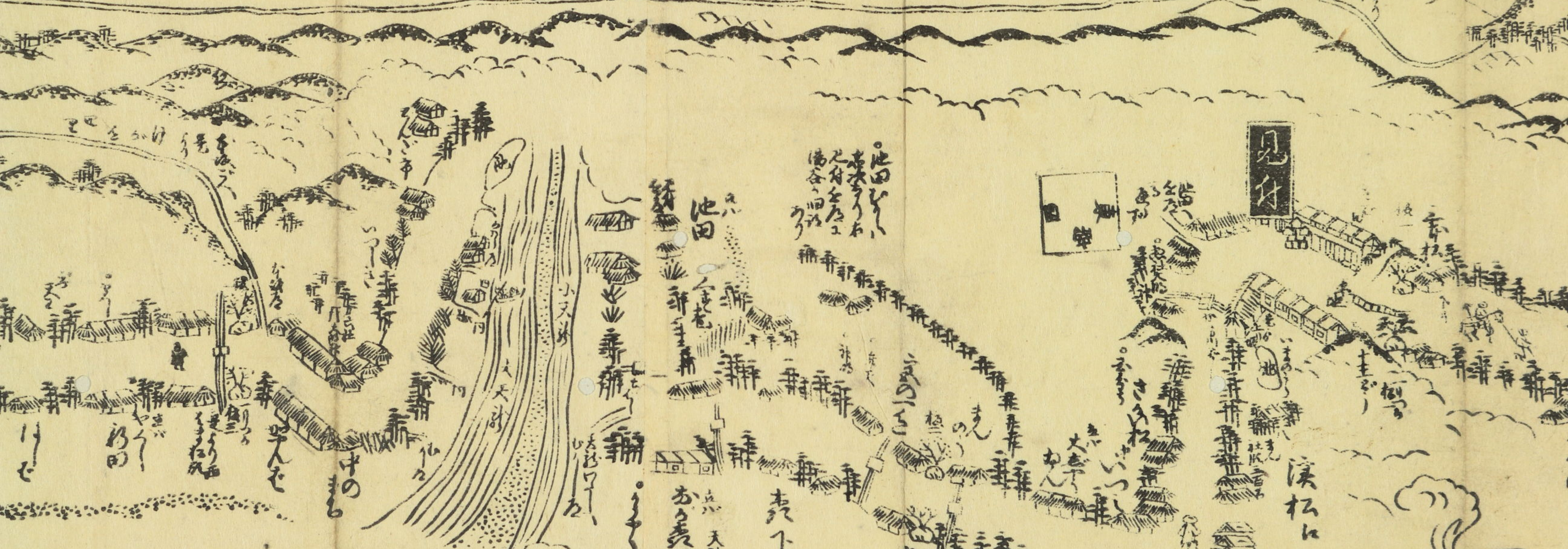
3

半リ 石

あさひ

車リ 垣心 乃 思 乃 之 河

山 葉 秋



舟ワ
 佐州の北の
 流
 其の石の
 天中川
 大
 出
 田
 中
 大
 田

池田
 見付
 松本
 大
 田
 中
 大
 田

上
 知

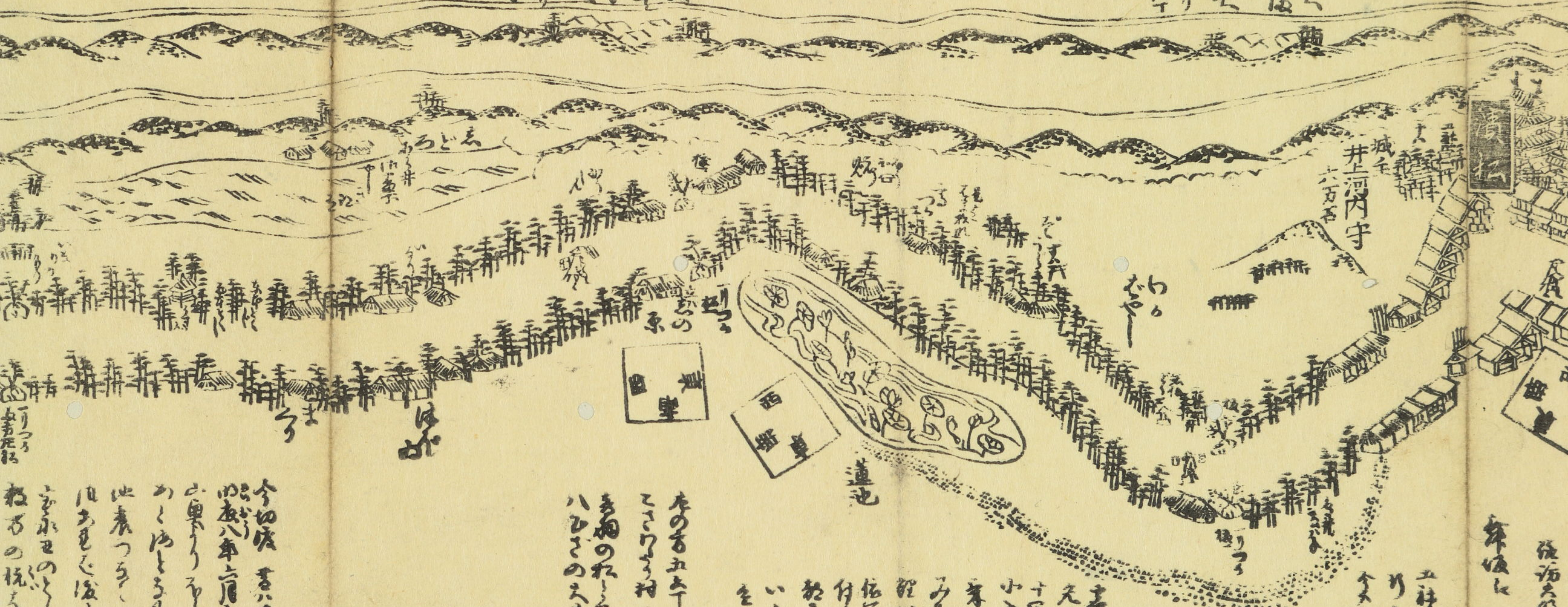


井上河内守
城主

その石の死工ハ
 天守川といへり
 大工の所 十丁川
 二十丁村、
 四丁をみる
 山坂に
 社成に百五
 社を降つて
 龍峯の玉造と
 出る十四りあり
 二の
 一の
 古城跡
 武里廿八丁

大坂の陣

大坂の陣



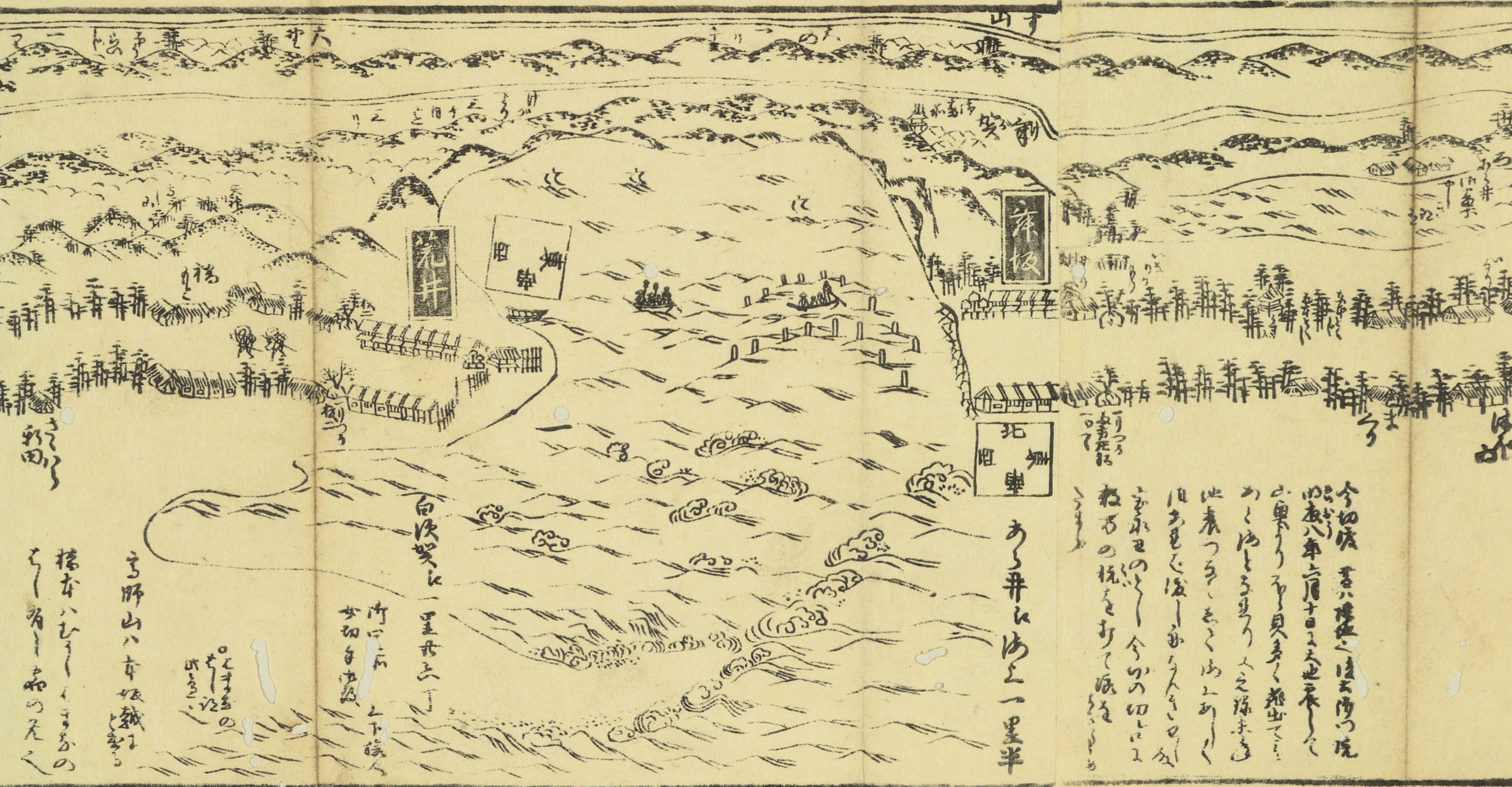
徳川氏の陣は城の西
 年頃には 武里に八丁

五月廿一日、八丁
 りて戦がけりし
 今も其の跡あり

右の陣は
 天守閣の北を
 十丁五丁の間に
 小入口の御
 本陣の御
 みらぬ、此は
 徳川氏の陣
 依りてをいへば
 付られし
 此の陣は
 い、此の陣は
 をいへば

左の五丁の御
 ここの陣は八丁の御
 本陣の御
 ハビの御

今頃、徳川氏の陣は城の西
 の北八丁の御
 本陣の御
 此の陣は
 此の陣は
 此の陣は
 此の陣は



山す

六甲山

北野

東野

北野

北野

あつ井はゆと一里半

白沢は一里半

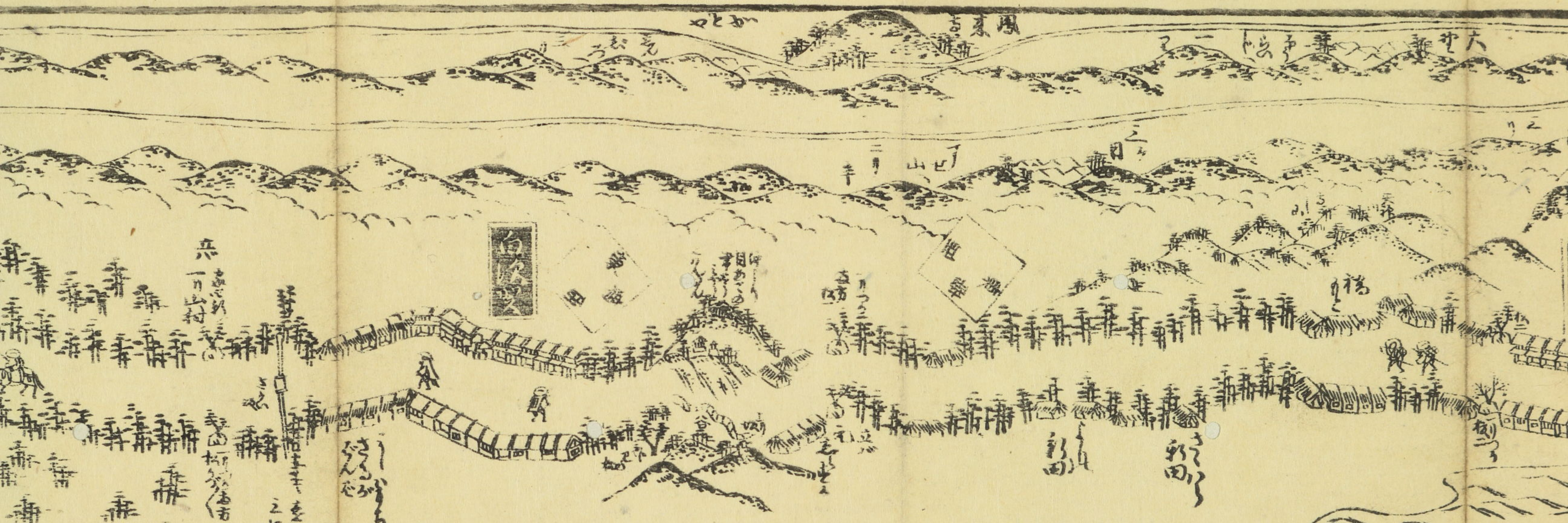
所は下
女切

おとすの
たし

高野山は本城

橋本はむし
ろしあり

今切成 書六境之は云所の院
の在八年二月十日と云也長し
小果よりや貝多く飛出て
わくはとるより人之跡未だ
此表つちととくゆとあり
川を見れば一歩も人はい
を水玉のくし今切の切し
ねるの板を打てぬ



河内府 山下橋
 女切手出度

○この川の
 大い川の
 とき

この野山ハ本城城上

橋本ハむしーくまの
 りー有ー品つえく

こまの細五ハ本城の
 二ノ月村とつふりー家ニ
 摩河那ち六福ち
 つー出る

此ノ城寺りーまの
 ちの

山ノりー子下山東のりー
 の

二ノ川 一里半

此右側ノ城の下りりー
 元流末のーおま
 は浪してほまー
 いのー

りり地味りり
 是りり田東山りり

はるありりりりり
 ちりりりりりり

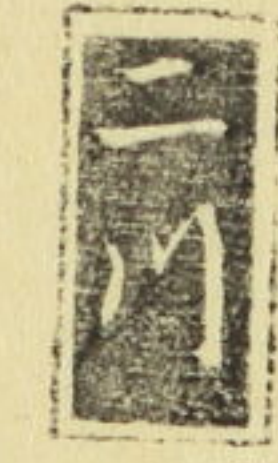
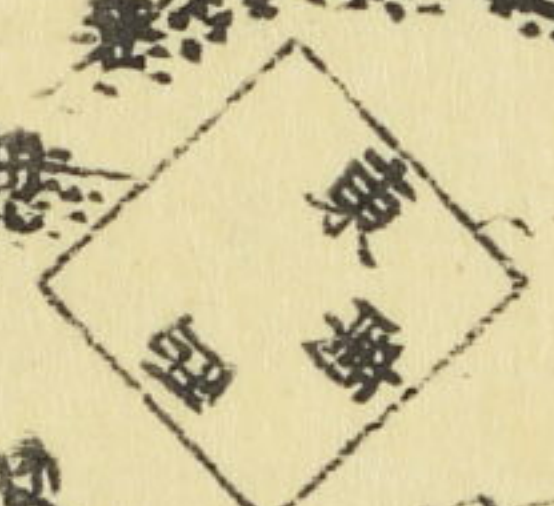


坂野

半二末

山形

たいまつ
さつり
さつり



吉田に一里半

いし八丈
二河と

左山と八丈
後石あり
山と大足太の林の社ハ
ハまんを

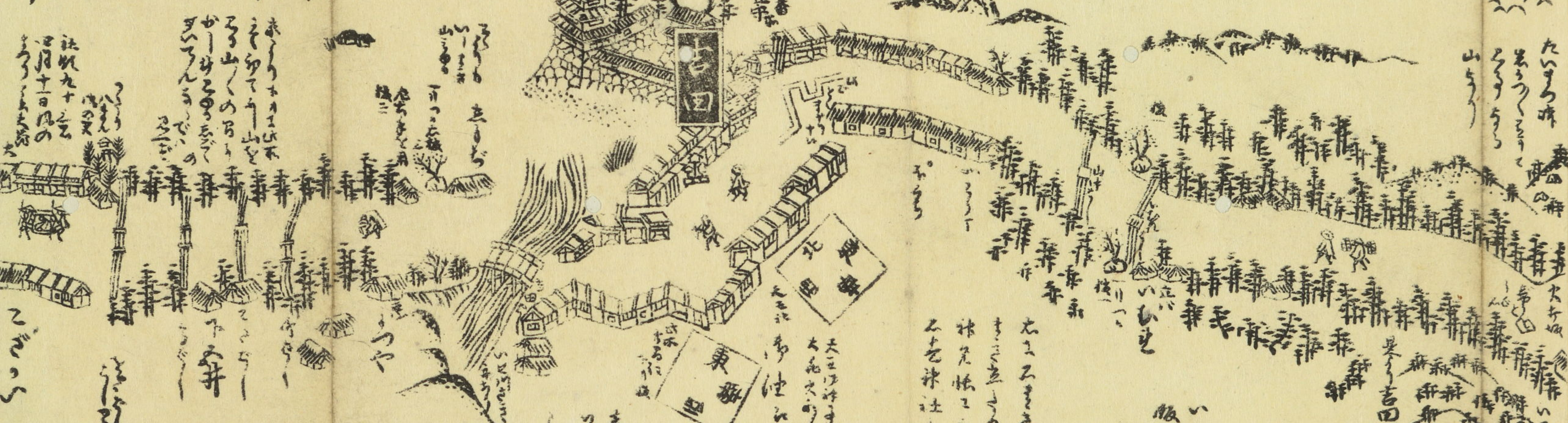
いりあふり
こしり

さけり
さけり

いりあふり
元禄末の
はるまじり

いし
坂野

吉田
いし
七丁半



城主
松平伊豆守
二万石

石倉山

吹上
山

北
東
西
南

大工
木匠
石匠
瓦匠
土匠
金匠
銀匠
銅匠
鉄匠
鉛匠
錫匠
鋅匠
汞匠
硫匠
硝匠
炭匠
灰匠
土匠
石匠
木匠
大工
木匠

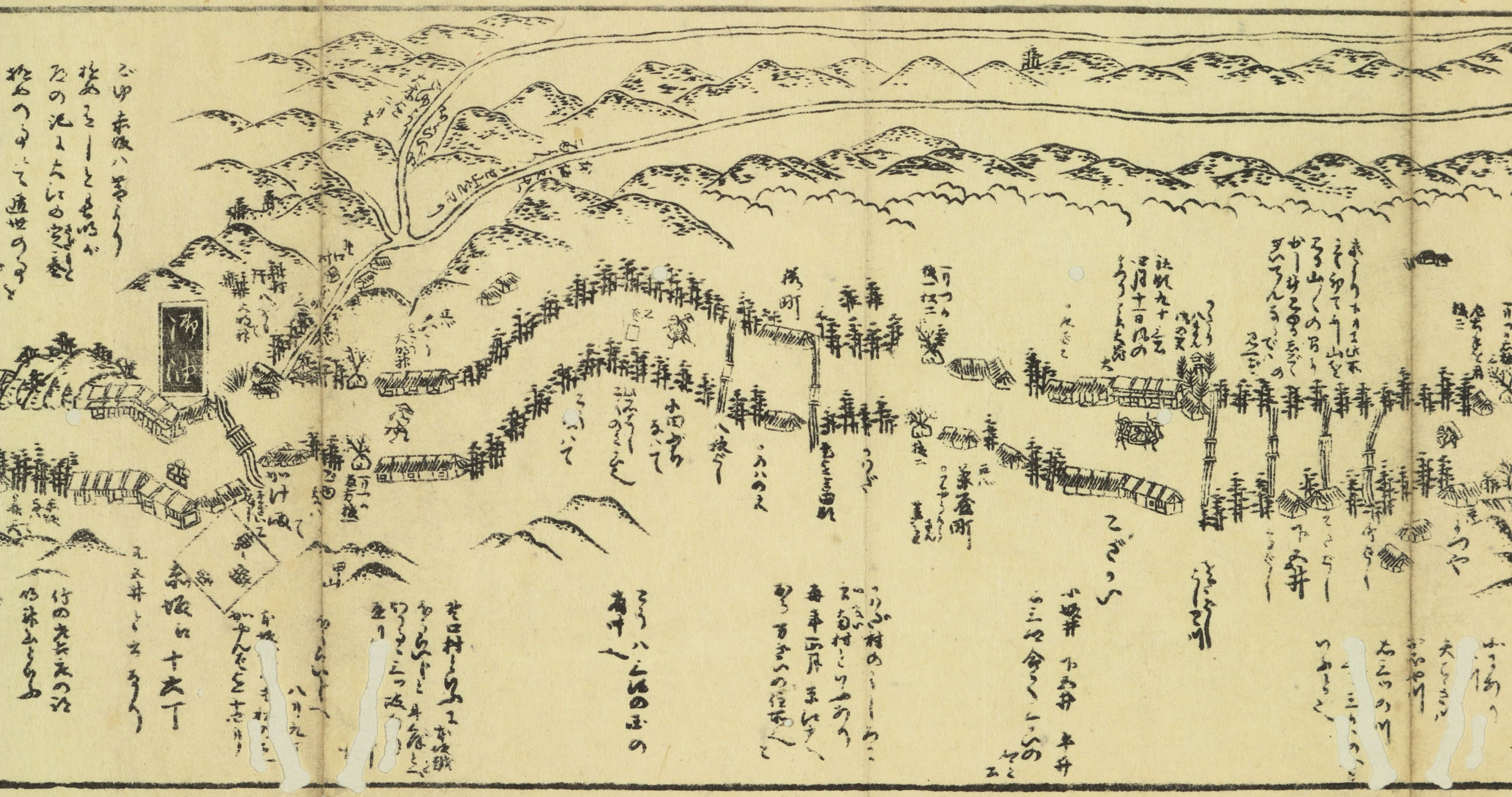
いし
石
山
の
石
を
切
る
に
用
い
る
石
を
い
し
と
い
ふ

石
の
石
を
切
る
に
用
い
る
石
を
い
し
と
い
ふ

石
の
石
を
切
る
に
用
い
る
石
を
い
し
と
い
ふ

石
の
石
を
切
る
に
用
い
る
石
を
い
し
と
い
ふ

公印未改ハ...
たの光...
たの光...
たの光...



公印未改ハ...

八ヶ...

...

...

...

...

...

...

...

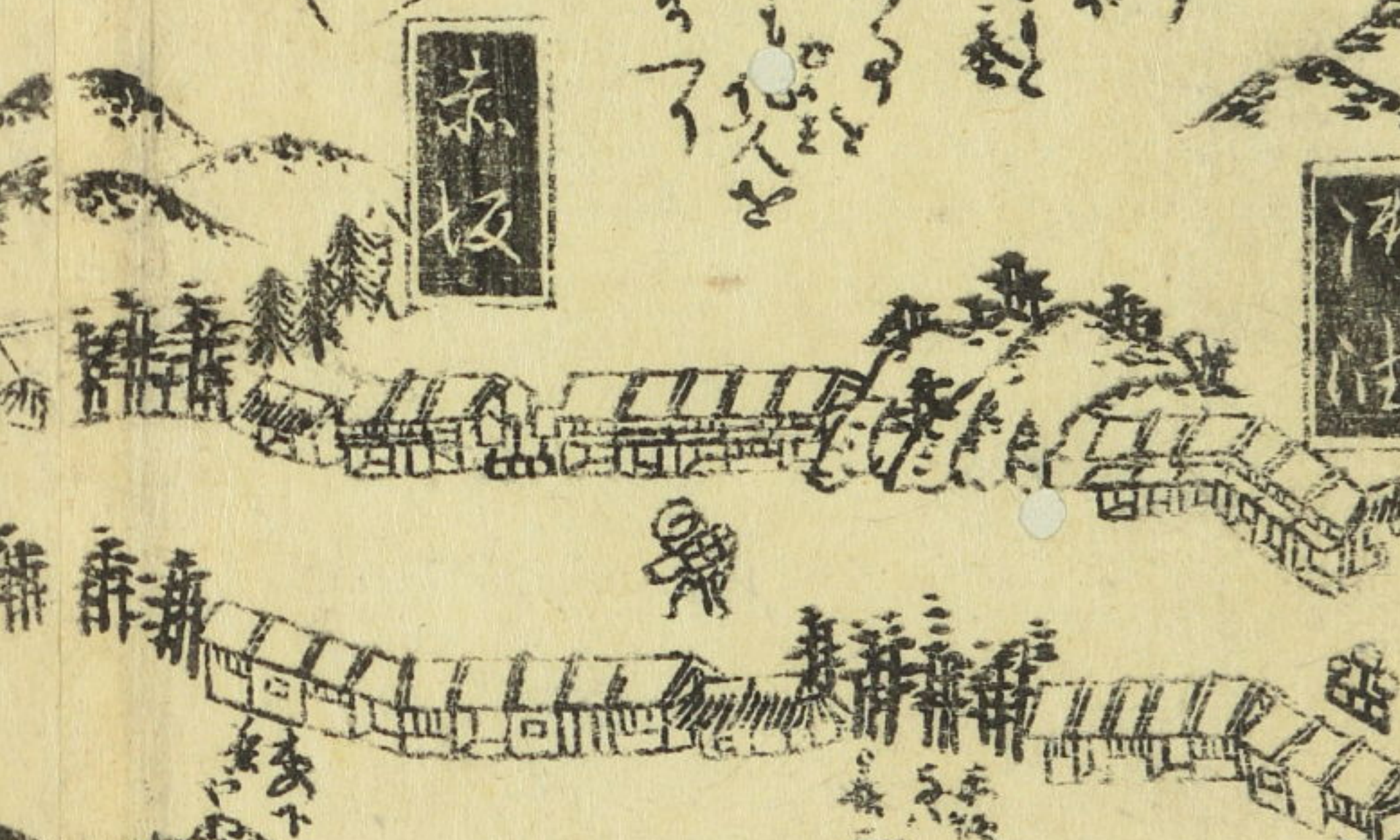
元者山本...
赤坂の表ありし
水と山ありて

赤坂の表ありし
水と山ありて
元者山本...

赤坂の表ありし
水と山ありて
元者山本...



赤坂の表ありし
水と山ありて
元者山本...



赤坂の表ありし
水と山ありて
元者山本...

赤坂の表ありし
水と山ありて
元者山本...

此の山は...
...

長瀬集のなご

長瀬のふりや井り
又くくやぢ山歩旅
坊ん乃とちうく

え者いはい
赤坂の赤あり
おとといふる之は
東之海の境

赤川赤坂の山より
赤山大の林文五

けさの山より
...

かんとさとの川の
...

大平川 元は男川といふ
赤の方川より夜わ...
山の方音...
小豆坂...
八月廿今川義石...
合戦...
けろとんの川...

七曲りといふ



赤坂の山

宝蔵寺 隆之
赤坂八丁
大井君
...

...

山中...

一里半

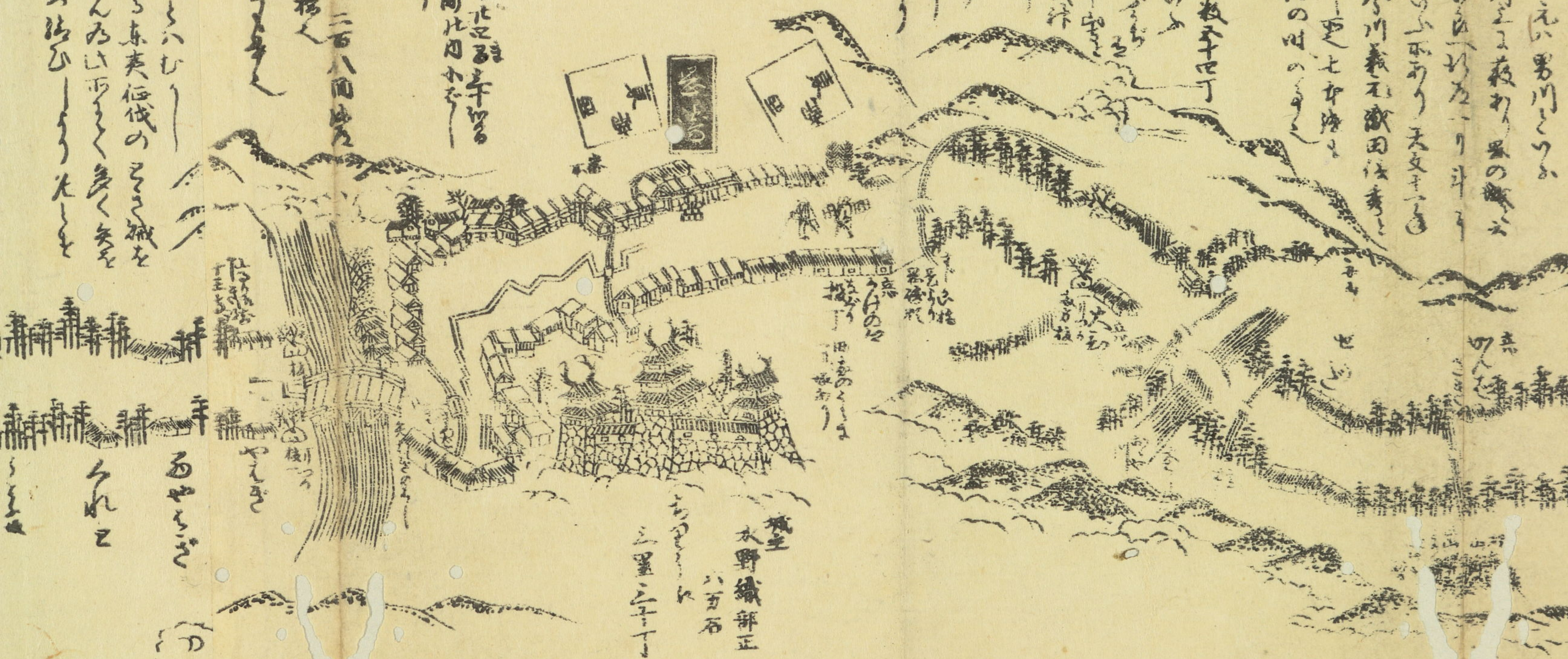
大平川 元は男川と云ふ
 本の方門より救われ、雲の霧云
 山の方音山一坊あり斗り
 小豆飯といふ所あり、天文十一年
 八月吉、今川義元、畠山義秀と
 合戦す、更七中津と
 けうろちんの川のくさくさ

岩崎の岡、敷平、丁
 七曲りといふ
 義晴といふ所
 所の裏、甲斐
 つかみ、赤民、村
 八幡といふ
 赤坂
 三ツ折
 松平といふ

松原をく、北に、平、山
 あり、所、北、川、小、川
 武、所、あり

矢、羽、松、二、百、八、面、山
 才、一、の、大、橋、人
 矢、橋、三、十、年、と
 矢、作

矢、く、さ、と、六、む、し
 目、の、武、了、東、夷、征、伐、の、こ、こ、城、を
 亡、し、終、り、ぬ、い、り、く、多、く、矢、を
 仍、し、山、法、心、し、く、た、し、と



城、正
 水、野、織、部、正
 八、万、石
 三、置、二、丁、丁

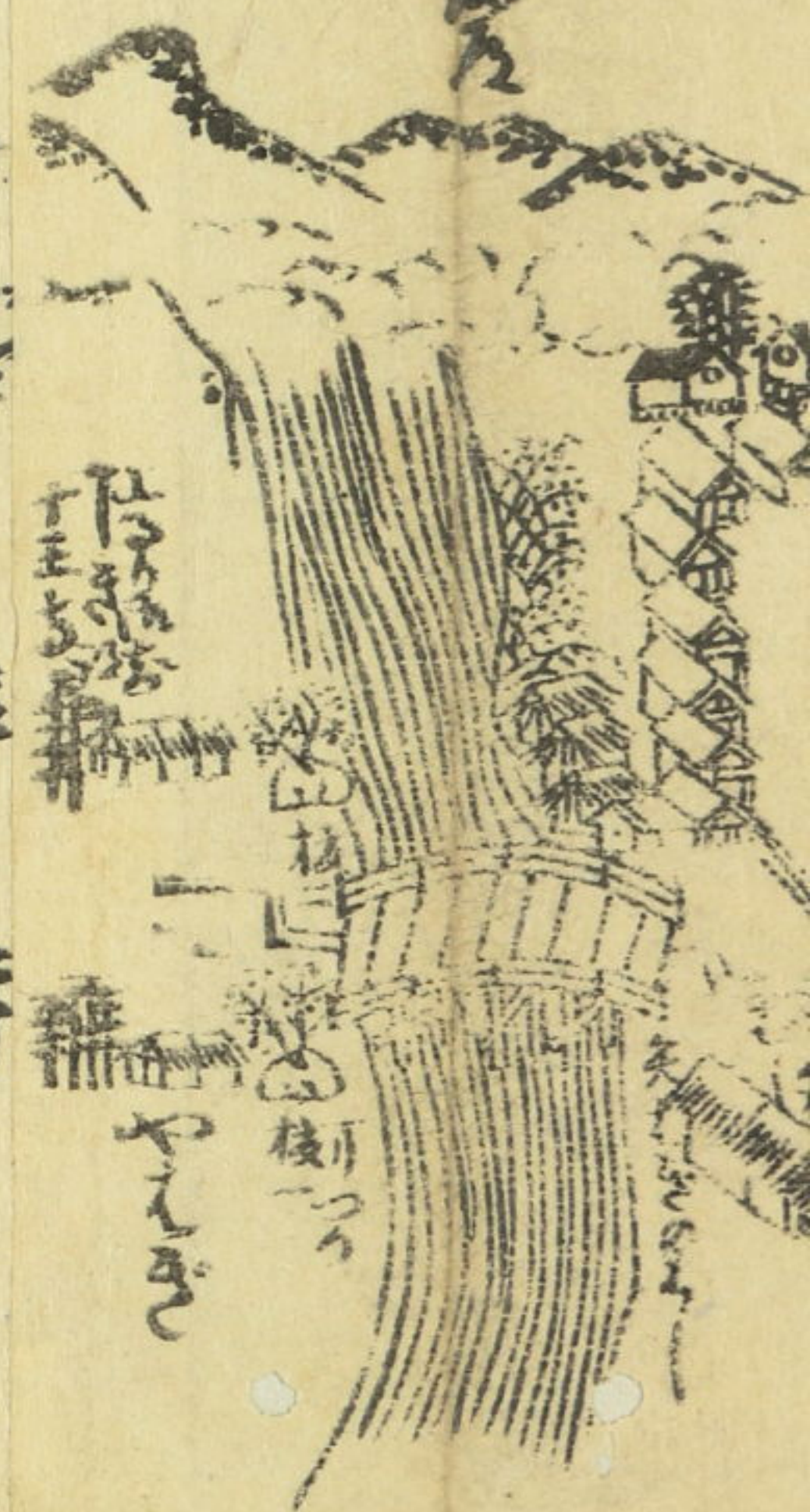
あ、や、と、と

く、れ、と

武蔵野

矢野 二五八面

矢野 大橋



矢野 大橋

矢野 大橋 二五八面
矢野 大橋
矢野 大橋

矢野 大橋

矢野 大橋

矢野 大橋

矢野 大橋

矢野 大橋

矢野 大橋

矢野 大橋

矢野 大橋

矢野 大橋

矢野 大橋

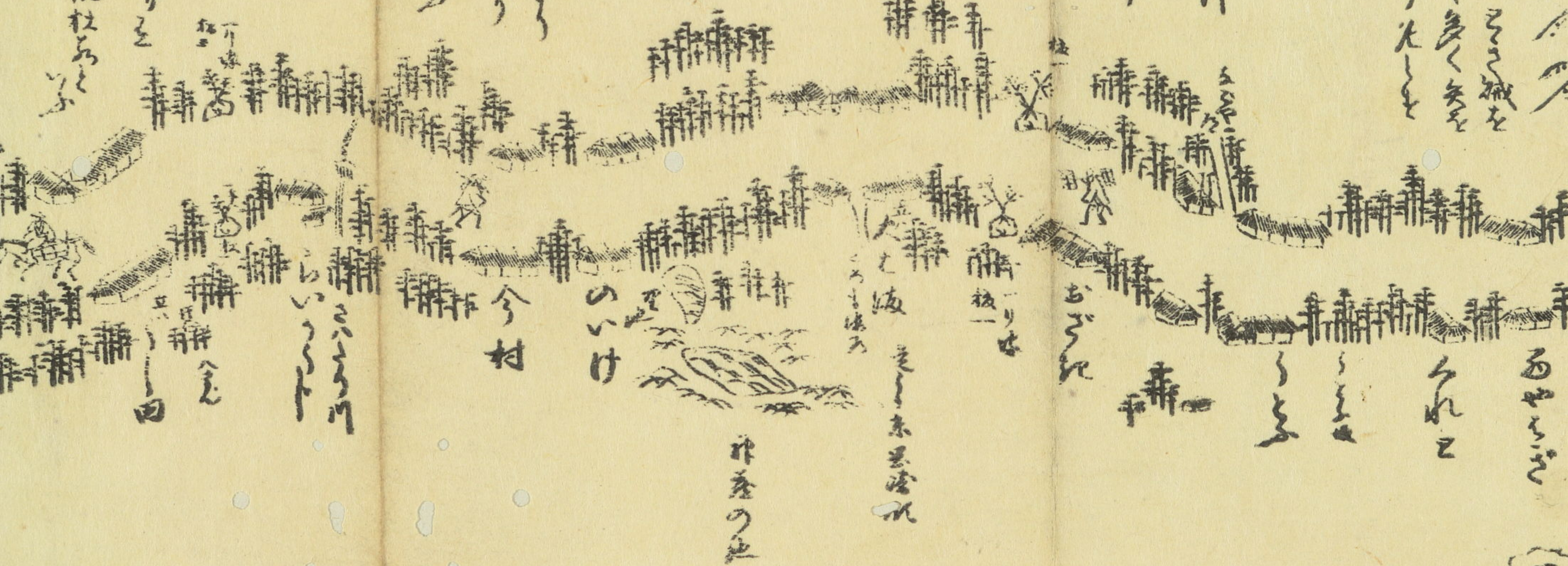
矢野 大橋

矢野 大橋

矢野 大橋

矢野 大橋

矢野 大橋



らいつり村の一丁あり
 八橋一り石碑あり
 八橋山を尋らるるあり
 飯家の傍らあり

在系葉平池の
 親なる井ありの
 橋杭縁起あり
 今も池は杜あり

口范口葉の元とありと
 世よして此形を八橋杜あり

田村

はふりて毎年に月
 の月ありと馬あり

池經輸入にる湯の
 松林見ゆり人沐るの
 すまふ場あり

ち甲あり 神元
 乙以玉葉ゆり
 丙あり 大の林の
 丁あり 此池に經
 多きゆへん
 乙あり 色りる
 糸孔のり市あり
 室に月あり
 一りあり

水刺金の城ハ
 一りあり

境川 坂玉の境
 尾尻の方下
 坂あり 乙の
 方あり



今村

いっつり

いっつり

いっつり

いっつり

いっつり

いっつり

いっつり

いっつり

いっつり

いっつり

み川谷の城ハちり
一りすめり

境川 五玉の境
尾原の方下すか
板倉の之内の方下
すかすか

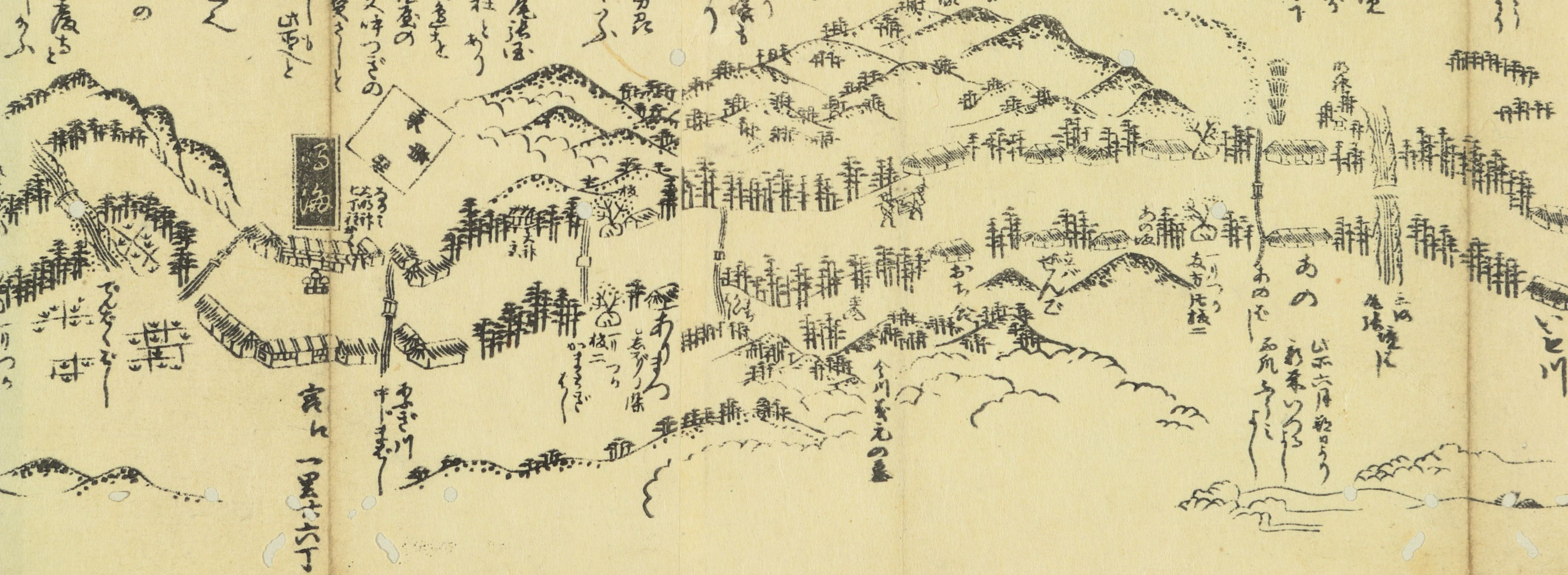
桶狭原
比登形とさまた
山原之五ノ
今川義元討死の
所とす
今川義元討死の
所とす
今川義元討死の
所とす

大林と遠津所勢
所宮山西とあり

あつし 林名帳尾張
和知郡と成海神社あり
いハハ馬場河原の地を
あつし 林名帳尾張
和知郡と成海神社あり
いハハ馬場河原の地を
あつし 林名帳尾張
和知郡と成海神社あり
いハハ馬場河原の地を

つり坂の道とす
あつし

天林山麓
いふかき



宮に
一里六丁

今川義元
の墓

あつし
あつし
あつし

あつし
あつし
あつし

あつし

ある所を舟月の後又時つごの
候とてふ古一筆の焚き...

川舟者の出づる一川と

甲斐 飯島ノ里

松尾の里 塔い色く

つり堀の道はういせの
あまえりあ

芝草 天林山芝草は
いふかき芝を去く

観音一池の中舟又天
竹生崎うら知清も

ひききりた工をふ出治
こゆるせのうらう

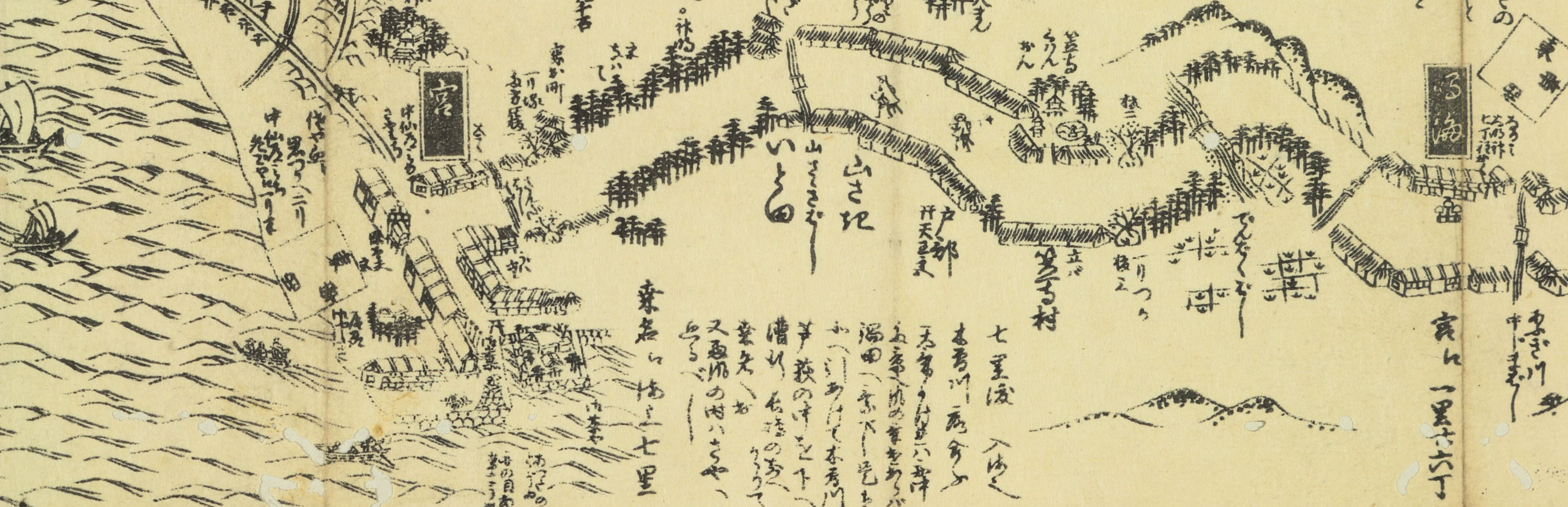
宮 あつこのまある
異してまといふ

熱田大竹林ハ草薙
おろち西日かあき

又八つこのまあり
原らま文いなが

さんご梅令のざけり
け川さづづ川と

新井 新井 新井 新井
新井 新井 新井 新井
新井 新井 新井 新井
新井 新井 新井 新井



尾張殿
御城
新井

六十一万九千石

宮

山さ記

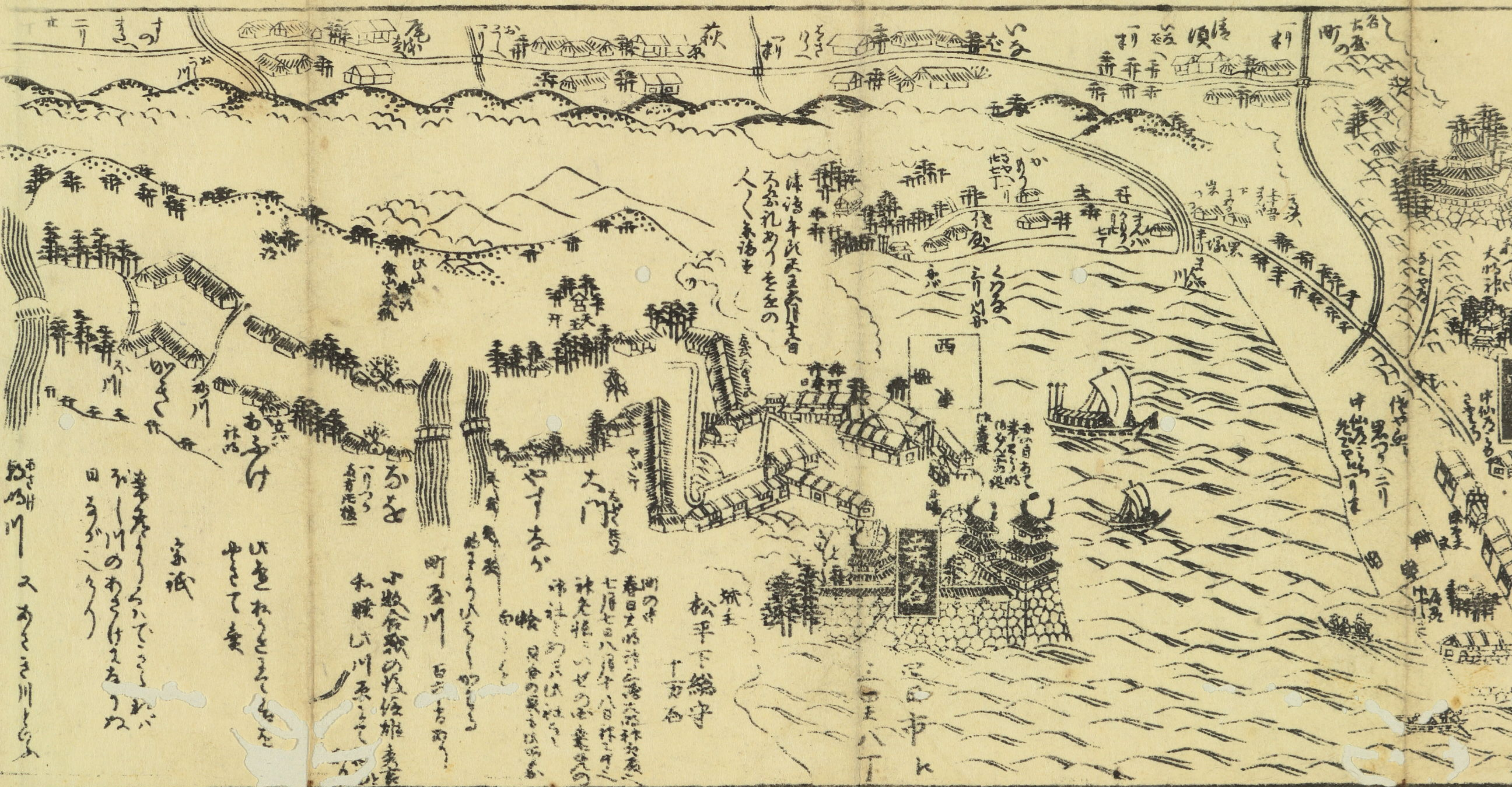
戸部

七里渡

宮一里十六丁

本町川原分
五重の重をあらわ
湯田(系下)元ち
又西州の内ハさや

東名一七里



体治年改元三月十日
ふふれありを左の
人々治す

松平下総守
十方石

春日大明神
七月七日八月十日
神社
神社
神社

町至川
百六方石

小敷合殿の板垣
本腰は川系

いせねらとま
中として

宗祇

河川
あさけ
川

河川
あさけ



ふそり
七や

石茶師

一里
石茶師
一里

又中一里と云ふ
又中一里と云ふ
又中一里と云ふ

とらや
とらや

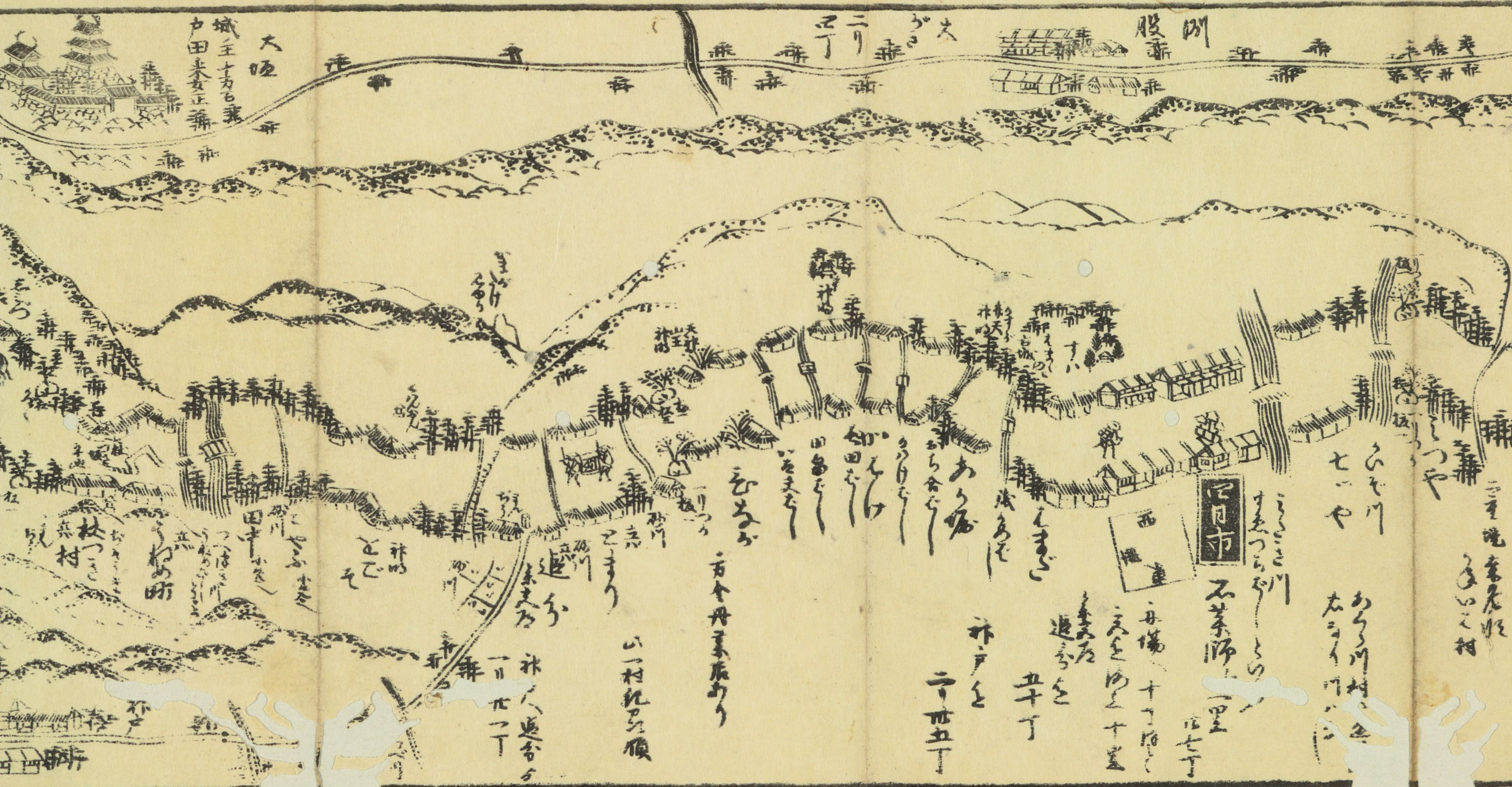
うきや

新八郎の先
いせのハサナ丁一里
いせのハサナ丁一里

新八郎の先
いせのハサナ丁一里
いせのハサナ丁一里

新八郎の先
いせのハサナ丁一里
いせのハサナ丁一里

新八郎の先
いせのハサナ丁一里
いせのハサナ丁一里



城主十方石
力田米女正藤

大坂

大 二 丁 赤

例 股 赤

赤 赤

赤 赤 赤

赤村

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

赤川

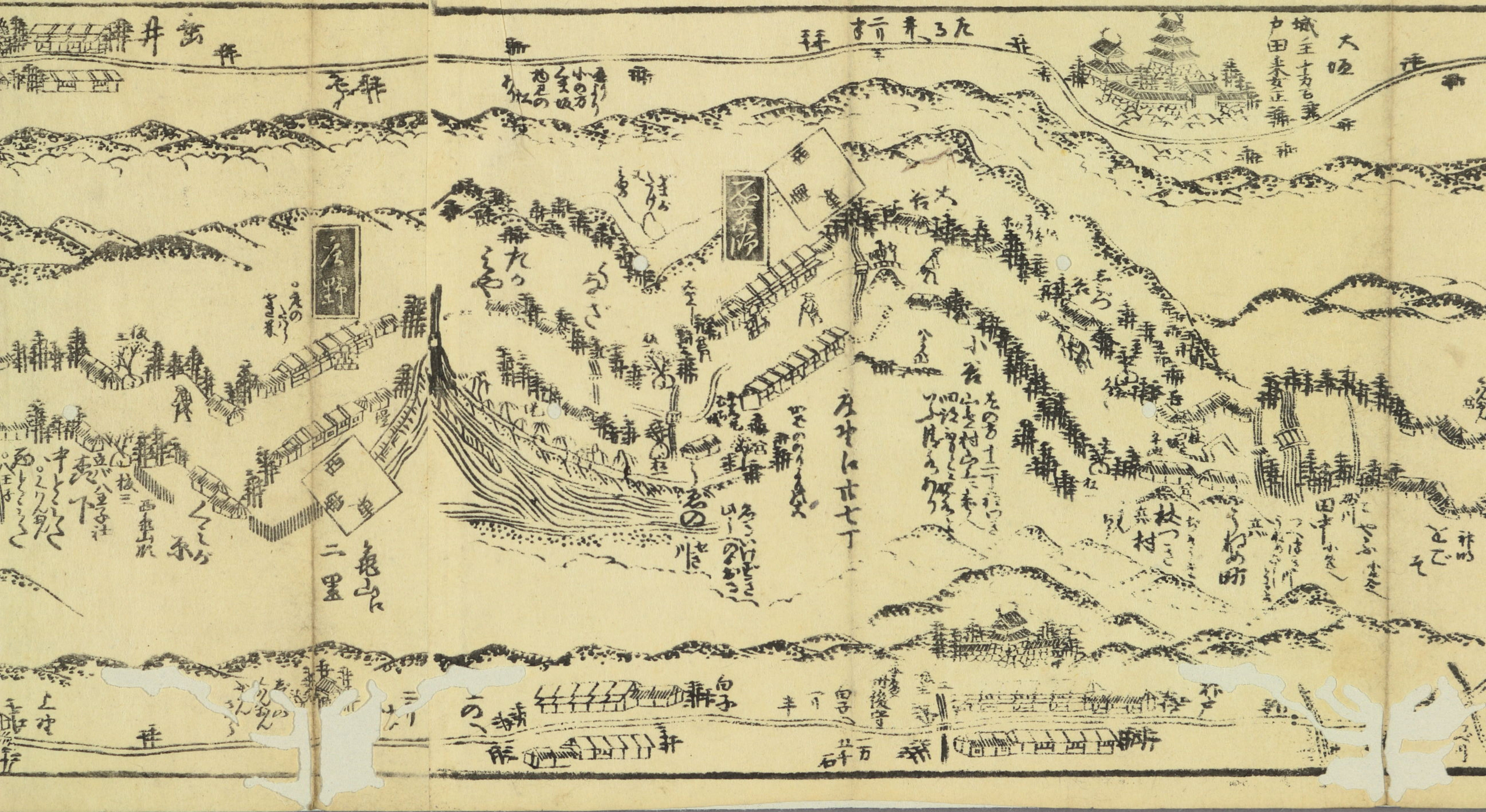
赤川

赤川

赤川

赤川

赤川



大坂
城主 土方 百 兼
力田 未 女 正 兼

三ノ井 新井

新井
小の石
金の石
石の石

新井 新井

新井

石野

石野

石野に七丁

西馬

二里 龜山

中とく
石野

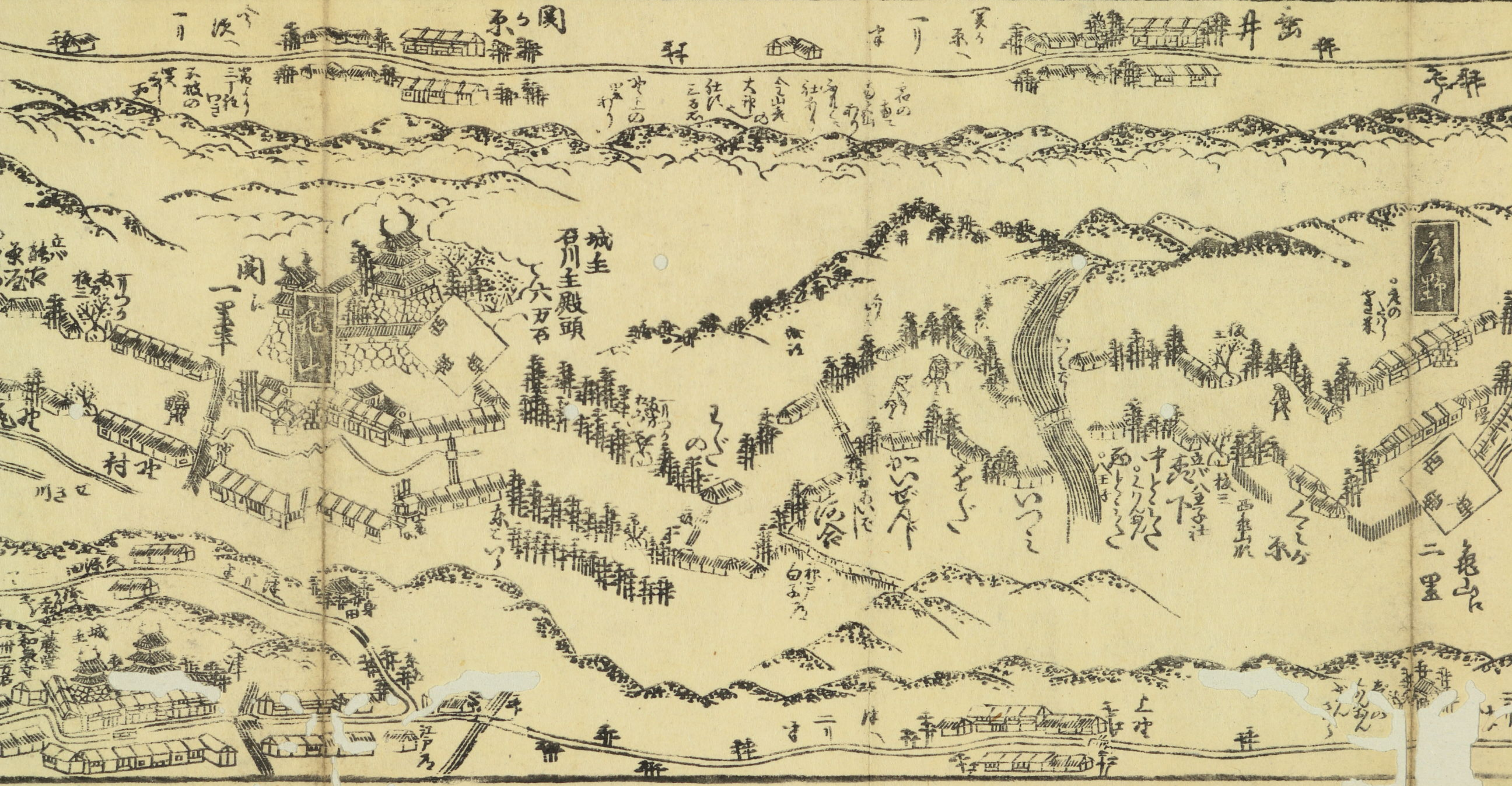
新井 新井

新井 新井

石野

石野

石野



東の関

西の関

井出

城主
石川主殿頭
六万石

石野

村北

西野
二里
石野

津

上野

井

井

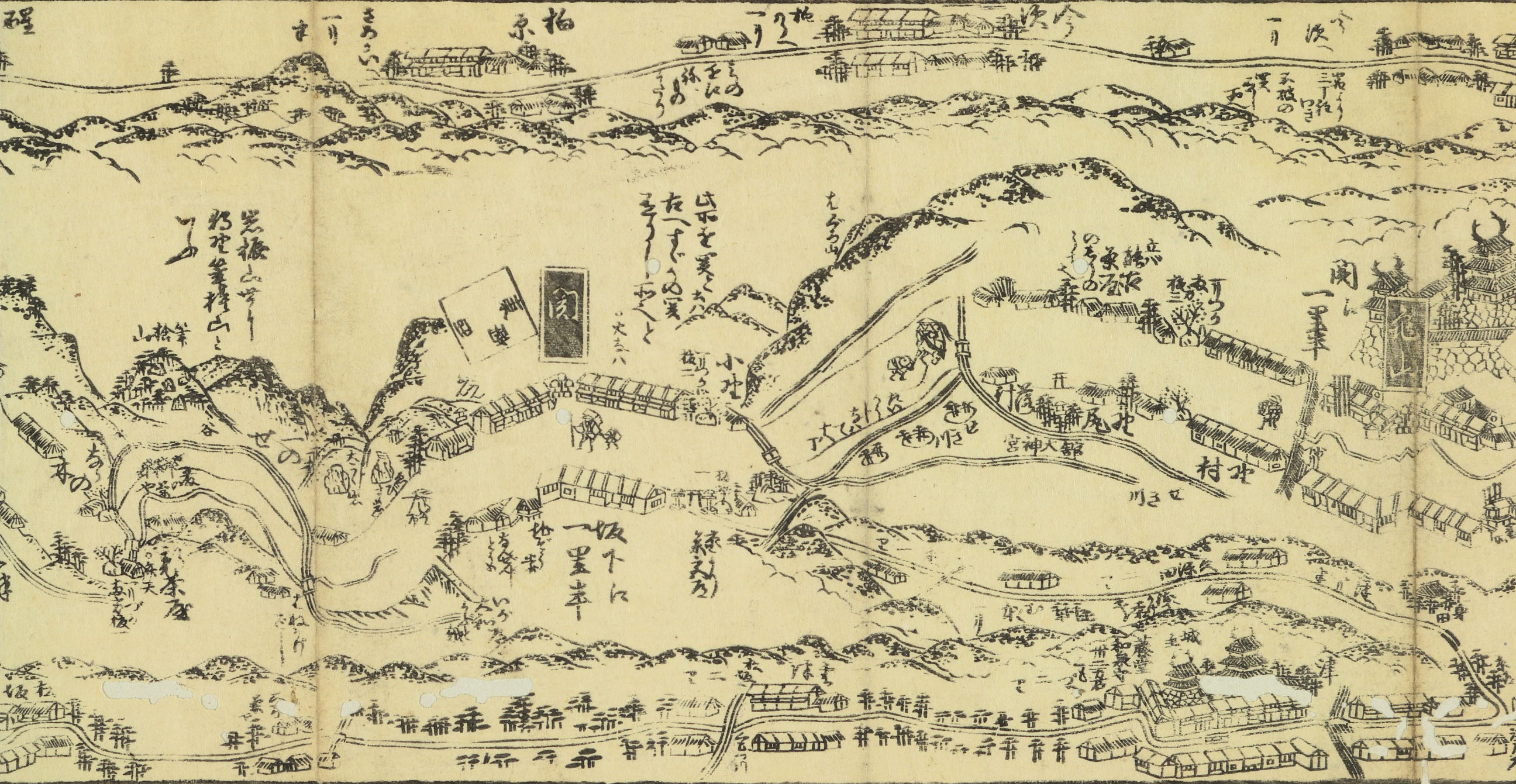
井

井

井

井

井



石 一 里 二 里 三 里 四 里 五 里 六 里 七 里 八 里 九 里 十 里 十一里 十二里 十三里 十四里 十五里 十六里 十七里 十八里 十九里 二十里 二十一里 二十二里 二十三里 二十四里 二十五里 二十六里 二十七里 二十八里 二十九里 三十里

岩根山
乃理集持山
山拾筆

同
田

はをま
たす
ま

坂下
里

緑

大神宮

村

関
一

城

川

和

長

寺

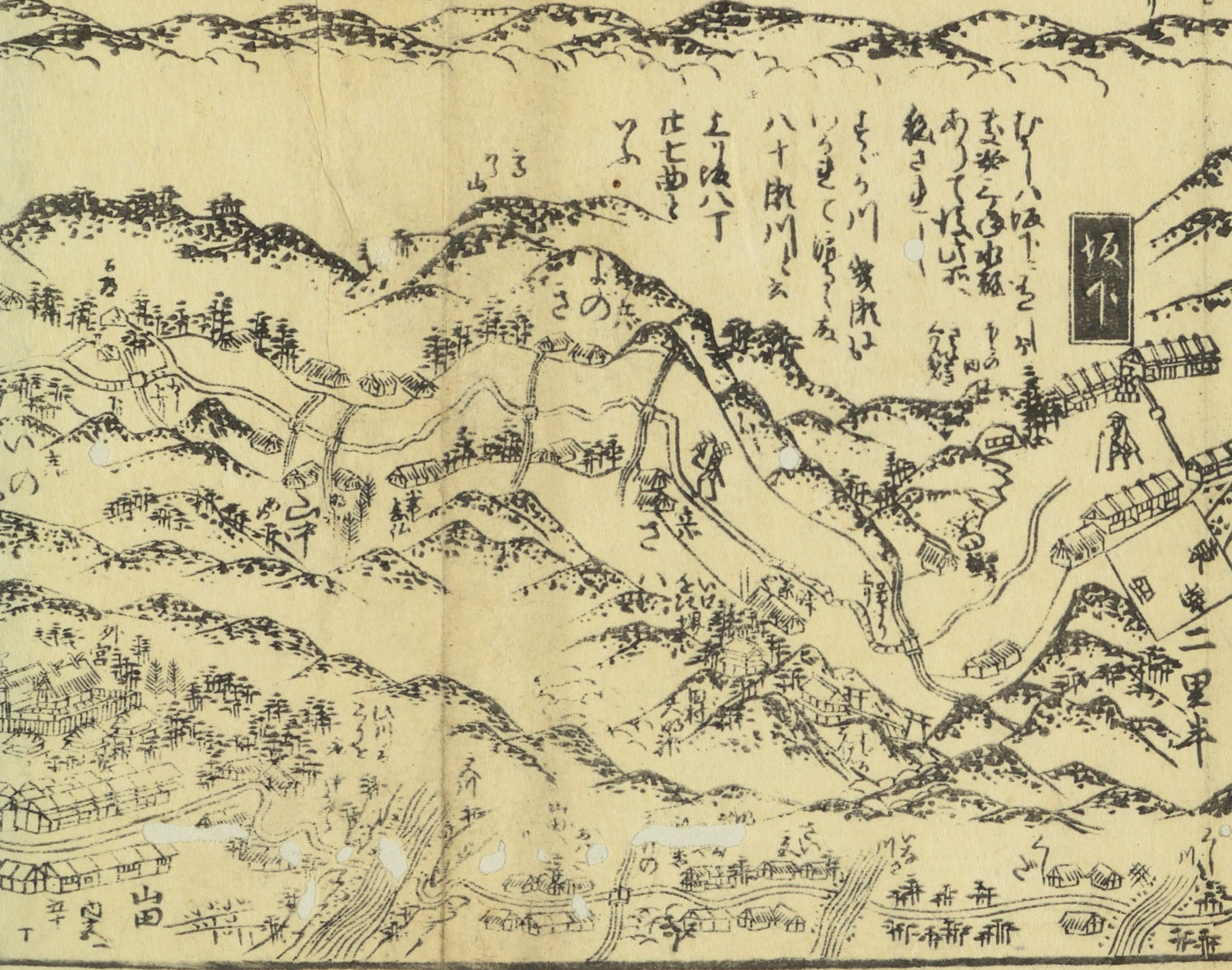
津

田

身

十了 かのり 馬馬 井 橋

井 碓 井 井 井



ひら八坂下と外
まきらと水
あつてはひら
ねささし
いりて川 幾流は
いりてく 師
八十流川と云
上り坂八丁
止七曲と
りよ

坂下

二里半



岩振山
乃地筆持山

古山に

の
まのあ
せき

茶屋

の

の



山田の山
山田の山
山田の山
山田の山
山田の山

山田の山
山田の山
山田の山
山田の山
山田の山

山田

山田



いさ川流る
 碑の流る
 流るを流
 ろとつふ
 子よ流る
 との流る
 久くつ流る
 流るよ流る
 流るよ流る

流るの流る
 空の上之位
 谷大の流る
 江月之流る
 流るの流る
 一本の流る
 あり流る
 ろとつふ

石流る
 二里半九下

山





高の
中
あ
大
初
中
更

大
の
城

大

い
び

石丸
二里半九丁
加藤佐渡守
二万五千石

城
加藤佐渡守

二万五千石

山
あり
あり
あり

二
あり
あり

新 安 将 介 山 武 子



石のり
水
今
本
この

平松

白
白

二
山



この山の
守り
の
り
の
り

東の山の
守り
の
り
の
り

矢の山の
守り
の
り
の
り

あらむ村の
守り
の
り
の
り

この
守り
の
り
の
り

この
守り
の
り
の
り

この
守り
の
り
の
り

この
守り
の
り
の
り

石の
守り
の
り
の
り



舟の先の舟を
導く人、舟は舟り
舟の先の舟を
導く人、舟は舟り
舟の先の舟を
導く人、舟は舟り

舟の先の舟を
導く人、舟は舟り
舟の先の舟を
導く人、舟は舟り

舟の先の舟を
導く人、舟は舟り
舟の先の舟を
導く人、舟は舟り

三上山

湖の大小
あやふり
あやふり
あやふり

舟の先の舟を
導く人、舟は舟り

舟の先の舟を
導く人、舟は舟り

舟の先の舟を
導く人、舟は舟り

舟の先の舟を
導く人、舟は舟り



。実の志づの神の
社地あり

。大の神
りつら

。五五の神
社地あり

山

山
の
神

山
の
神

山
の
神

山
の
神

湖の
大
の
神

山
の
神

山
の
神

山
の
神

大の
神

西
車

東
に
里

山
の
神

山
の
神

山
の
神

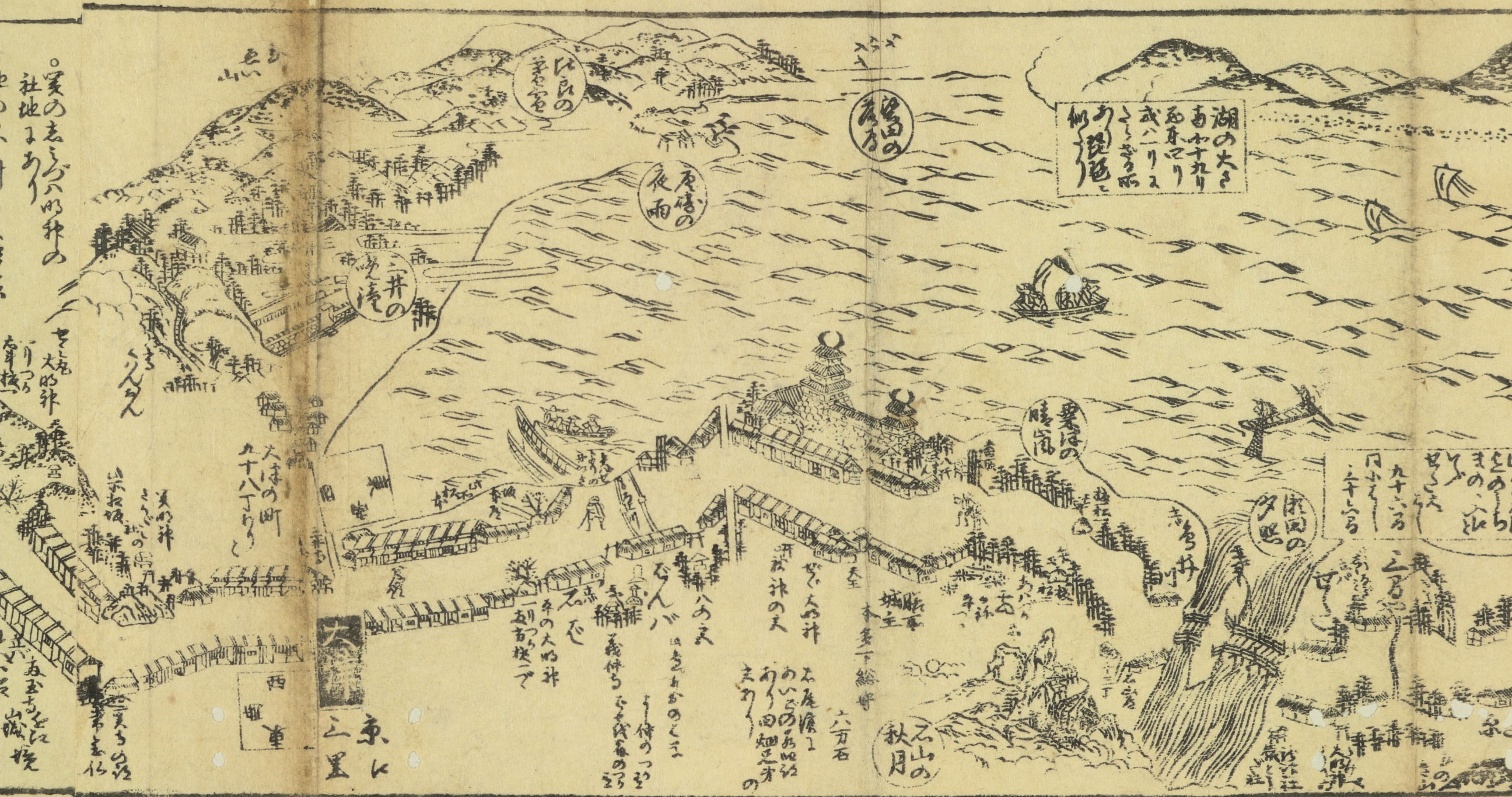
山
の
神

山
の
神

山
の
神

山
の
神

山
の
神





。実の志つぐの種の
社地よりあり
。池のうへ計。大は後
。そらん
。多飯の
。まきりまとお飯の
いしより。実の
小川の流の



大はの町
九十八丁り

西
車

東
に
里



江戸と京との往復回至附

平定城八山嶺州と京の
 宇治の邑とあり板敷天皇
 幸の時山城玉皇の京より
 今の京と云ふことつとせ
 京の西の麓に四神社の社
 佳境にありて遊覧の人
 京の西の麓にありて遊覧の人
 京の西の麓にありて遊覧の人

日本橋 二里
 舟馬九十四文
 押戻六十一文
 人区四十七文

不川 二里半
 百四十五文
 七十五文
 五十六文

川崎 二里半
 百四十五文
 七十五文
 五十六文

袋井 四里
 舟馬九十四文
 押戻六十一文
 人区四十七文

見附 八丁
 百四十五文
 七十五文
 五十六文

濱松 二里半
 百四十五文
 七十五文
 五十六文

江戸系之諸侯同封附

日原橋 二里 女馬九十四文 押尾六十一文 八區四十七文

袋井 一里 女馬六十九文 押尾四十八文 八區九十九文

不川 二里半 百四文 七十二文 五十六文

見附 四里半 二百四文 百七十五文 百七十五文

川崎 二里半 百四文 七十二文 五十六文

濱松 二里半 百四文 七十二文 五十六文

神奈川 一里半 四十九文 三十三文 廿五文

藤坂 一里半 七十六文 九十九文 三十九文

往谷 二里半 百八文 六十九文 五十九文

荒井 一里半 七十六文 九十九文 三十九文

戸塚 一里半 八十八文 五十八文 四十四文

白旗 一里半 六十七文 四十九文 三十九文

菟沢 三里半 百五文 七十八文

二河 一里半 七十三文 四十九文 三十九文

平塚 北六丁 三十三文 廿三文 十八文

吉田 二里半 百四文 七十五文 五十七文

大磯 四里 百八文 九十九文

子井 一里半 廿三文 十六文 十二文

小田原 四里 四十八文 三十三文 九十九文

赤坂 二里半 百七十五文 六十八文 九十九文

箱根 三里 百四文 七十二文 五十六文

花川 一里半 九十九文 七十八文 五十九文

三鴻 一里半 六十八文 四十四文 三十四文

忌崎 三里半 百七十五文 八十二文 六十一文

池鯉鮒 二里半 百七十五文 八十二文 六十一文

三鴻 一里半 六十八文 四十四文 三十四文

小田原

八丁
二百九女
五百九女
五百九女
五百九女

赤坂

九丁
六十八女
九十九女

箱根

二里
四百七女
三百九女
三百九女
三百九女
三百九女

花川

一里
七十八女
九十九女
九十九女

三鴻

一里半
六十八女
四十四女
三十四女

池鯉鮒

二里
百七女
八十二女
六十一女

沼津

一里半
六十八女
四十四女
三十四女

馬海

一里
六十九女
四十九女
三十九女

原

三里
八十四女
六十四女
六十四女

宮

七里
四十九女
四十九女
三十九女

吉原

二里
百七女
七十九女
七十九女

蒲原

三里
四十四女
三十九女
三十九女

桑名

三里
百七女
九十九女
七十九女

由井

二里
百七女
七十九女
七十九女

市

二里
百七女
八十一女
六十一女

奥津

一里
四十七女
三十九女
三十九女

石茶屋

七里
三十四女
三十九女
三十九女

江尻

二里
百七女
七十九女
七十九女

店野

二里
八十六女
五十八女
四十四女

府中

一里半
八十一女
五十九女
四十二女

龜山

一里
六十九女
四十五女
三十九女

丸子

二里
百四女
九十一女
七十九女

関

一里半
百七女
七十九女
五十九女

忌部

一里
七十九女
五十九女
三十九女

坂下

二里半
百七女
八十九女
八十九女

茂枝

二里
百七女
八十九女
六十九女

土山

二里半
百七女
八十九女
六十九女

府中 一里 八十一文
 半里 九十九文
 二里 百四十五文
 三里 百九十二文
 四里 二百三十九文
 五里 二百八十六文
 六里 三百三十三文
 七里 三百八十文
 八里 四百二十七文
 九里 四百七十四文
 十里 五百二十一文

九子 二里 百四十五文
 三里 百九十二文
 四里 二百三十九文
 五里 二百八十六文
 六里 三百三十三文
 七里 三百八十文
 八里 四百二十七文
 九里 四百七十四文
 十里 五百二十一文

忌部 一里 七十九文
 二里 九十九文
 三里 百四十五文
 四里 百九十二文
 五里 二百三十九文
 六里 二百八十六文
 七里 三百三十三文
 八里 三百八十文
 九里 四百二十七文
 十里 四百七十四文

若枝 二里 百四十五文
 三里 百九十二文
 四里 二百三十九文
 五里 二百八十六文
 六里 三百三十三文
 七里 三百八十文
 八里 四百二十七文
 九里 四百七十四文
 十里 五百二十一文

鴻田 一里 七十九文
 二里 九十九文
 三里 百四十五文
 四里 百九十二文
 五里 二百三十九文
 六里 二百八十六文
 七里 三百三十三文
 八里 三百八十文
 九里 四百二十七文
 十里 四百七十四文

金谷 一里 百四十五文
 二里 百九十二文
 三里 二百三十九文
 四里 二百八十六文
 五里 三百三十三文
 六里 三百八十文
 七里 四百二十七文
 八里 四百七十四文
 九里 五百二十一文
 十里 五百六十八文

日坂 一里 九十九文
 二里 百四十五文
 三里 百九十二文
 四里 二百三十九文
 五里 二百八十六文
 六里 三百三十三文
 七里 三百八十文
 八里 四百二十七文
 九里 四百七十四文
 十里 五百二十一文

掛河 二里 百四十五文
 三里 百九十二文
 四里 二百三十九文
 五里 二百八十六文
 六里 三百三十三文
 七里 三百八十文
 八里 四百二十七文
 九里 四百七十四文
 十里 五百二十一文

大津 一里 七十九文
 二里 九十九文
 三里 百四十五文
 四里 百九十二文
 五里 二百三十九文
 六里 二百八十六文
 七里 三百三十三文
 八里 三百八十文
 九里 四百二十七文
 十里 四百七十四文

大坂 一里 九十九文
 二里 百四十五文
 三里 百九十二文
 四里 二百三十九文
 五里 二百八十六文
 六里 三百三十三文
 七里 三百八十文
 八里 四百二十七文
 九里 四百七十四文
 十里 五百二十一文

寶曆三年申九月吉日
 江戸 日本橋
 通三町目
 吉文堂 廣文堂 共編版

